

独立行政法人国立少年自然の家の平成14事業年度に係る業務の実績に関する評価[全体評価]

評 価 項 目	評 価 の 結 果						
○ 事業活動	・主催事業について 各施設の立地条件を生かした事業や少年の現代的課題等に対応した事業に着実に取り組むとともに、指導者研修の体系的な実施に向けて成果がみられました。今後も少年教育の中心的な役割を担っていくため、少年を対象とした事業内容の一層の充実と体系化に基づく専門性の高い指導者研修事業の充実、事業成果の普及に努めることを期待します。 ・受入事業について 利用促進のための学校・青少年団体等への直接訪問や報道機関、地域情報誌等を活用した広報活動に積極的に取り組み、新規利用団体を46%増加させ、年間の目標稼働数130万人を大きく上回る139万人を受け入れたことは、幅広い広報活動の結果であると評価できます。また、利用者の満足度において全ての項目で90%以上の高い満足度を得ていることは評価できます。更に、利用者サービスの向上を目指し、利用申込み手続きの簡略化や引率者用休憩室の整備など、利用者の視点に立った改善に成果がみられますが、今後は一層、各施設のホームページの充実を図るとともに、利用者の活動を支援するボランティアや専門的指導員の計画的な養成と確保に一層努めていくことを期待します。						
○ 業務運営	・施設の連携体制について 法人本部に「企画・評価課」を新たに設置し、法人としての体系的な事業運営や内部評価を強化するとともに、法人本部と各施設の連携による業務改善に向けた体系的な取組みを通して、施設の連携体制、事務の効率化が進んでいることは評価できます。今後は、引続き、法人全体としての情報の共有化に努め、事務の簡素化・効率化を図りながら、連携体制を強化していくことが期待されます。 <table border="1" data-bbox="253 662 512 1054"> <tr> <td data-bbox="253 662 512 826">1 財務</td><td data-bbox="517 662 2114 826"> ・業務の効率化について 職員の省エネルギーに向けての意識改革や利用者に対する協力依頼などを通して、光熱水料、特に電気料を前年度に比べて、6.9%の節減に努力したことは評価できます。今後は、特に電気や水道等の使用量にも留意した取組みが望まれます。 ・外部委託については、委託に伴う効果やその必要性を明確にししながら、各施設の実情を踏まえた委託を推進することにより、効果的な業務運営や業務の質的向上を図ることができるよう、引き続き努めていくことを期待します。 ・外部資金については、今後も一層、積極的な受入れに努めることを期待します。 </td></tr> <tr> <td data-bbox="253 829 512 970">2 人事</td><td data-bbox="517 829 2114 970"> ・人事管理について 職員の専門性や資質向上を目指した法人内外での研修と次年度からの「長期海外実践研修」、新たなプロパー職員（準専門職員）の採用に向けた交流人事の見直しなどの取組みは評価できます。 今後の職員の採用に当たっては、公募等の取り入れと法人内における専門性の高い職員の計画的な養成、各施設における適正な人員配置について、積極的に取り組むことを期待します。 </td></tr> <tr> <td data-bbox="253 973 512 1054">3 その他</td><td data-bbox="517 973 2114 1054"> ・施設・設備等の整備について 利用者の快適な食・住環境の確保と身障者や利用者のニーズ等を反映した施設・設備の整備に努めていますが、今後も引続き、特に身障者に配慮した施設・設備の充実と受動喫煙防止対策に努めるとともに、環境に配慮した施設運営を期待します。 </td></tr> </table>	1 財務	・業務の効率化について 職員の省エネルギーに向けての意識改革や利用者に対する協力依頼などを通して、光熱水料、特に電気料を前年度に比べて、6.9%の節減に努力したことは評価できます。今後は、特に電気や水道等の使用量にも留意した取組みが望まれます。 ・外部委託については、委託に伴う効果やその必要性を明確にししながら、各施設の実情を踏まえた委託を推進することにより、効果的な業務運営や業務の質的向上を図ることができるよう、引き続き努めていくことを期待します。 ・外部資金については、今後も一層、積極的な受入れに努めることを期待します。	2 人事	・人事管理について 職員の専門性や資質向上を目指した法人内外での研修と次年度からの「長期海外実践研修」、新たなプロパー職員（準専門職員）の採用に向けた交流人事の見直しなどの取組みは評価できます。 今後の職員の採用に当たっては、公募等の取り入れと法人内における専門性の高い職員の計画的な養成、各施設における適正な人員配置について、積極的に取り組むことを期待します。	3 その他	・施設・設備等の整備について 利用者の快適な食・住環境の確保と身障者や利用者のニーズ等を反映した施設・設備の整備に努めていますが、今後も引続き、特に身障者に配慮した施設・設備の充実と受動喫煙防止対策に努めるとともに、環境に配慮した施設運営を期待します。
1 財務	・業務の効率化について 職員の省エネルギーに向けての意識改革や利用者に対する協力依頼などを通して、光熱水料、特に電気料を前年度に比べて、6.9%の節減に努力したことは評価できます。今後は、特に電気や水道等の使用量にも留意した取組みが望まれます。 ・外部委託については、委託に伴う効果やその必要性を明確にししながら、各施設の実情を踏まえた委託を推進することにより、効果的な業務運営や業務の質的向上を図ることができるよう、引き続き努めていくことを期待します。 ・外部資金については、今後も一層、積極的な受入れに努めることを期待します。						
2 人事	・人事管理について 職員の専門性や資質向上を目指した法人内外での研修と次年度からの「長期海外実践研修」、新たなプロパー職員（準専門職員）の採用に向けた交流人事の見直しなどの取組みは評価できます。 今後の職員の採用に当たっては、公募等の取り入れと法人内における専門性の高い職員の計画的な養成、各施設における適正な人員配置について、積極的に取り組むことを期待します。						
3 その他	・施設・設備等の整備について 利用者の快適な食・住環境の確保と身障者や利用者のニーズ等を反映した施設・設備の整備に努めていますが、今後も引続き、特に身障者に配慮した施設・設備の充実と受動喫煙防止対策に努めるとともに、環境に配慮した施設運営を期待します。						
評 価 項 目	評 価 の 結 果						
◎ 総 評	近年の少年を取り巻く自然環境や社会環境の変化に伴い、少年は至便な生活環境下で日常生活をおくっています。この結果、少年の直接体験の機会が減少し、これらと歩調を合わせて、少年の社会規範やモラル、対人関係能力、体力などの低下が指摘されています。 国立少年自然の家は、豊かな自然環境の中、少年の集団での自然体験・生活体験などを通して、感動や他者への思いやり、生命を大切にする心や物事を着実にやり抜く意思など、少年の豊かな人間性や社会性を育むことを使命としています。 国立少年自然の家は、理事長のリーダーシップのもと「少年自然の家の使命」や「経営方針」を明らかにしながら、法人本部に新たに企画・評価課を設置して法人としての体系的な事業運営や内部評価体制を強化するとともに、法人自らが外部の有識者等を構成員とする「自己点検・評価検討委員会」を設置して自己点検・評価に取り組むとともに、改善事項や今後の課題、方向性などを十分把握しながら業務運営を行っていることは高く評価できます。 また、国立少年自然の家は、少年の健全な発達に、体験活動や奉仕活動などの重要性が指摘される中、少年に学校や家庭では得ることが難しい体験学習の機会を提供し、少年の主体性や学ぶ意欲を高めるなど、次代を担う少年の「生きる力」の育成に大きな貢献をしています。 わが国における少年教育の中心的な施設として全国に設置されている国立少年自然の家は、中期目標の達成に向け、法人化2年目の業務運営を着実に進めており、今後もわが国における少年教育の先導的役割を果たしていくことが大いに期待されます。						

独立行政法人国立少年自然の家の平成14事業年度に係る業務の実績に関する評価[項目別評価]

○業務運営の効率化に関する事項

中期計画の各項目	評価項目	評価基準			評価に係る実績	評 定	
	指 標	A	B	C		A B C 評 定	留 意 事 項
I 業務運営の効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置							
1 全国に分散した施設を機能的に統合して連携体制を整備し、事務の集中管理による簡素化・効率化を図る。	施設の連携体制の状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。			(1)法人本部と各施設の連携協力による効率化の推進 前年度の実績を踏まえ、法人本部と各施設が一体となって、連携体制を更に推進し、事務の効率化を図る取組みを行った。 ア 少年自然の家の人事関連の諸課題を検討するプロジェクトの設置 少年自然の家の人事や組織管理等の諸課題に対応するため、検討プロジェクトやワーキングを新たに設置し、人事組織に関する諸課題の整理と今後の方向性についての具体的な検討を行った。 また、これらの検討結果を踏まえ、国立少年自然の家として平成15年度を目指した新たな職員の採用に向けた取組みを行うとともに、人事給与や事務組織に関連する諸規則の改正など、具体的な見直しに着手した。 ○所長プロジェクト 主な検討事項 ・専門性の高い職員の確保・養成方法 ・今後の関係機関との人事交流の在り方 ・職員の意欲や資質向上のための具体的方策など ○課長ワーキング 主な検討事項 ・事務組織規程、給与規則、就業規則等の見直しなど イ 職員研修派遣制度による連携協力 ・施設から本部への業務協力 13施設14人 ウ 法人本部と各施設の機能的統合のための諸規則の制定 法人の事務運営に必要な諸規則の追加制定（6本）と平成13年度新たに定めた諸規則等の見直しによる一部改正（11本）並びに廃止（1本）を行った。 エ 各施設間の共催・共同による事業の実施（全施設） オ 海を活動の場とする施設間における研究会の設置（3施設） (2)人事・会計・利用統計システムの改善 ア 人事給与システム 法人の役職員に関する実態に則した「人事給与システム」の見直し、改善を行った。 ・給与改定、辞令作成処理、共済標準報酬改定 イ 会計事務システム 決算処理の迅速化を図るためのシステム仕様の変更を行った。 ウ 利用統計システム 利用団体及び主催事業参加者を対象とした利用に関するアンケートの集計業務を、法人本部と各施設が一体となって迅速に対処できるよう、現行の利用統計システムの運用の見直し及び統計処理の取扱いについて意識の統一を図り、業務の改善に努めた。	A	法人本部に「企画・評価課」を設置し、法人としての体系的な事業運営や内部評価体制を強化したことは評価できます。また、法人本部と各施設の連携による人事関連の諸課題の検討、施設間連携による事業の展開、各種システムの見直しなど、業務の改善に向けた取組みを通して、連携体制、事務の効率化に成果がみられました。 今後は、更に業務内容の点検・見直しと法人全体としての情報の共有化を図り、事務の簡素化・効率化が引き続き図られることを期待します。
	①事務の集中管理による簡素化・効率化状況						

A：中期計画を十分に履行し、中期目標に向かって着実に成果を上げている。
B：中期計画をほぼ履行し、中期目標に向かって概ね成果を上げている。
C：中期計画を十分には履行しておらず、中期目標達成のためには業務の改善が必要。

中期計画の各項目	評価項目	評価基準			評価に係る実績	評 定																															
	指 標	A	B	C		A B C 評 定	留 意 事 項																														
1 業務運営の効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置																																					
2 光熱水料の節減、外部委託、情報化、調達方法、支払窓口の一本化等の見直しを進める。	業務の効率化状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。				A	職員の省エネルギーに向けての意識改革や利用者への協力依頼などを通して、光熱水料、特に電気料の節減に成果がみられました。今後は、電気や水道等の使用量にも留意した努力が望まれます。 外部委託に当たっては、各施設の実情を踏まえ、委託の必要性、効果などを明らかにしつつ、引き続き、効率的な業務運営や業務の質的向上を図ることができるよう努めていくことが望まれます。																														
	①光熱水料の節減状況				各施設では、少年教育施設としての役割や利用者へのサービス低下を招くことがないように十分配慮しながら、設備等の改善、職員の意識改革に努め、光熱水料の削減を図った。 主な取組みは次のとおりである。「節電の表示（13施設）」「巡回による不要照明の消灯（11施設）」「休憩時間等の事務室の節電（9施設）」「節水の表示（9施設）」「シャワーの水量の調節（6施設）」など 〔光熱水料の支出実績額〕 <table><tr><td>区 分</td><td>13年度実績額：A</td><td>14年度実績額：B</td><td>差引(A－B)：C</td><td>節減率 C/A</td></tr><tr><td>電 気</td><td>148,017,573 円</td><td>137,778,351 円</td><td>10,239,222 円</td><td>6.9 %</td></tr><tr><td>水 道</td><td>39,579,583 円</td><td>45,171,534 円</td><td>△ 5,591,951 円</td><td>△ 14.1 %</td></tr><tr><td>ガ ス</td><td>2,443,954 円</td><td>3,281,039 円</td><td>△ 837,085 円</td><td>△ 34.3 %</td></tr><tr><td>その他</td><td>59,094,867 円</td><td>59,183,964 円</td><td>△ 89,097 円</td><td>△ 0.2 %</td></tr><tr><td>合 計</td><td>249,135,977 円</td><td>245,414,888 円</td><td>3,721,089 円</td><td>1.5 %</td></tr></table>			区 分	13年度実績額：A	14年度実績額：B	差引(A－B)：C	節減率 C/A	電 気	148,017,573 円	137,778,351 円	10,239,222 円	6.9 %	水 道	39,579,583 円	45,171,534 円	△ 5,591,951 円	△ 14.1 %	ガ ス	2,443,954 円	3,281,039 円	△ 837,085 円	△ 34.3 %	その他	59,094,867 円	59,183,964 円	△ 89,097 円	△ 0.2 %	合 計	249,135,977 円	245,414,888 円	3,721,089 円	1.5 %
	区 分	13年度実績額：A	14年度実績額：B	差引(A－B)：C	節減率 C/A																																
電 気	148,017,573 円	137,778,351 円	10,239,222 円	6.9 %																																	
水 道	39,579,583 円	45,171,534 円	△ 5,591,951 円	△ 14.1 %																																	
ガ ス	2,443,954 円	3,281,039 円	△ 837,085 円	△ 34.3 %																																	
その他	59,094,867 円	59,183,964 円	△ 89,097 円	△ 0.2 %																																	
合 計	249,135,977 円	245,414,888 円	3,721,089 円	1.5 %																																	
光熱水料の節減率 ★目標：1％ （前年度光熱水料－当該年度光熱水料）／前年度光熱水料 注）利用者数の増減を勘案する	1.5%以上	1.0%以上 1.5%未満	1.0%未満	平成13年度 249,135,977円（稼働数 1,346,962人） 平成14年度 245,414,888円（ " 1,392,864人） 45,902人増 節減率・・・1.5％：節減目標：1％ （13年度光熱水料実績額－14年度光熱水料実績額）× 100 13年度光熱水料実績額 （ 249,135,977円 － 245,414,888円 ）× 100 1.5 % 249,135,977円																																	
②外部委託の見直し状況				外部委託については、各施設の実情に即し、継続して行う外部委託を効率性・経済性の視点から見直しを行うとともに、新規に行う外部委託についてもコスト比較を行い、その必要性や効果等を十分検討して実施した。 (1)既存の外部委託の見直し・検討 11施設がボイラー運転管理業務、庁舎清掃業務について、委託内容の見直しやパート職員賃金とのコスト比較等を行い、給食業務では2施設が食事環境や給食サービスの見直し、2施設が競争による業者の選定を行った。 更に、施設の維持管理上、必要な特殊業務並びに専門的な資格が必要な外部委託や法律に基づく外部委託について業務の内容に応じた積算を行い、外部委託を実施した。 なお、委託の必要性を検討した業務としては、警備委託業務、活動コース整備などであり、外部委託先の変更は、ボイラー運転管理業務、給食業務など5施設、6業務である。 (2)新規に実施した外部委託 11施設で32業務について、費用対効果の検討、利用者サービスの向上、維持管理業務の改善を図るための検討を行い、16業務について新たな外部委託を実施した。																																	
③事務の情報化の状況				法人化に合わせて整備した会計事務システム及び固定資産管理システムを継続しながら、今年度は、決算事務を見据えた仕様変更並びにシステムデータにおける事項の整理等の整備に着手し、事務処理が効率的に行えるようシステムの改善を図った。 (1)情報ネットワークを活用した取組み 各種文書ファイルの共有化については、平成13年度に全施設が取り組んでいるが、共有する必要がある、「行事予定」「課・係毎ファイル」「電子掲示板」等の情報を更に追加し事務の情報化・効率化を推進した。 (2)ネットワーク等を活用したペーパーレス化に向けた取組み 各施設における定型文書データを可能な限りファイル化し、共有文書の拡充を図るとともに、ホームページから利用者等が予約状況の確認ができ、利用申込書等を直接印刷できるようにするなどペーパーレス化を進めた。																																	

	④ 物品の調達方法の改善 状況 注) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」への対応に配慮する		各施設は、市街地から離れた場所に設置されているため、物品等の調達では相当の数量を確保し、事務の停滞を防止する方策がとられている。法人では会計規程を定め、調達方法の改善に努めた。事務用品のコピー用紙、印刷用紙、封筒類や生活必需品であるトイレトペーパー等は、相当数を確保し、市価よりも安価な調達を可能とする一括購入を行った。 また、日頃から市場調査に心掛け、効率的かつ経済的な調達を実現させる工夫を行い、限られた予算の執行に努めた。 なお、物品調達に際しては、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に基づいた調達に努め、エコマーク等の情報の活用など、できる限り環境負荷の少ない物品の調達に努めた。	
	⑤ 1%の業務の効率化 ★目標：1% (運営費交付金予算額÷0.99－運営費 交付金決算額)÷(運営費交付金予算額÷0.99) 注) 新規・拡充分を除く 注) 目的積立金への積立分を除く	1.5%以上 1.0%以上 1.0%未満 1.5%未満 ※文部科学省独立行政法人評価委員会総会が示す統一的な考え方	光熱水料の節減等、法人一体となった事業運営の効率化を目指した結果、14年度は2.9%の業務の効率化を図ることができた。 ○目 標 : 1% ○14年度実績：2.9% $\frac{(\text{運営費交付金予算額} \div 0.99 - \text{運営費交付金決算額})}{(\text{運営費交付金予算額} \div 0.99)}$ $(4,250,022 \text{ 千円} \div 0.99 - 4,169,591 \text{ 千円}) \div (4,250,022 \text{ 千円} \div 0.99)$	

○国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

中 期 計 画 の 各 項 目	評 価 項 目	評 価 基 準			評 価 に 係 る 実 績	評 定																																																							
	指 標	A	B	C		A B C 評 定	留 意 事 項																																																						
II 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置																																																													
1 少年の団体宿泊訓練に関する事項・主催事業 主催事業を計画するに当たり、①継続事業においては、前回の事業の成果を踏まえ、継続していく必要性や事業のねらいを明確にする、②新規事業においては、地域の実情に照らし、現代的課題とは何かについて、的確な情報を収集、調査分析を行い、その展開方法について各分野の専門家の意見を取り入れるなど、もっとも成果が上がるような計画を策定する。 また、計画策定に当たり、過去の同種の事業の参加人数や指導者の許容範囲を勘案しながら適性な事業規模とする。 事業終了後において、当初の目的が達成されたか、報告書を作成し、結果や評価等の調査研究を行う。 以上のことから中期目標期間中に、地域・課題等を考慮し、以下の主催事業を計画的に実施する。 (1)各施設の实情や立地条件等に基づいた、独自性を発揮した事業の企画、適切な目的・内容・方法・対象・時期などを踏まえた事業の実施、公立少年自然の家等に対する事業内容・運営手法などの成果の普及、事業評価に基づく課題の改善などを促す。 また、自然体験活動、ボランティア活動、環境学習、異年齢交流など、適切な手法で事業の目的を達成するよう促す。 なお、事業の効果をより高めるために、施設周辺の自然環境の活用、関係機関等との連携、地域の課題への対応などにも留意を促す。 (2)平成14年度から実施の完全学校週5日制に対応するため、これまでの学校週5日制対応事業の成果をまとめ、平成14年度以降の学校週5日制対応事業について、その在り方を検討し、検討結果に沿って実施し、その成果を公立少年自然の家等に普及する。 (3)調査研究・開発体制を整え、新しい活動プログラムの開発・実施・普及計画を立て、新規プログラムを開発し、公立少年自然の家等に普及する。 (4)主催事業参加者から高い評価が得られるよう、各施設において事業の企画、参加者への対応等が適切に行われるよう促す。	主催事業の実施状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。		〔主催事業における評価の視点〕 (1)事業の企画・立案段階に關しての評価 ○継続事業：前回の事業内容の分析とその成果や課題を踏まえた改善状況○新規事業：ニーズの掌握、的確な情報の収集・分析を通した現代的課題に対応する事業の企画状況○専門家等からの意見の聴取と専門性の高い事業の実施状況 (2)事業の実施・展開段階での評価 ○関係機関・団体との連携による事業展開の状況○効果的・効率的な事業運営○広報の適切性 (3)「事業の成果」に関する評価 ○平成13年度の「自己点検・評価」における課題への対応○事業のねらい・目的の達成状況 ○参加者の満足度（80％以上）○適切な定員による事業の実施○費用対効果の検討○事業成果の普及の取組み○改善すべき課題等の把握	A	「長期の自然体験」「不登校児童・生徒」「総合的な学習の時間」など、少年の「現代的課題」に対応した事業の展開とプログラム開発に成果がみられ、その努力は高く評価できます。 今後は、特に小学校低学年を対象とした事業を充実するとともに、「総合的な学習の時間」に関する取組み成果を発信し、一層、事業内容の充実を図っていくことが望まれます。																																																							
①現代的課題、今日的な少年教育に関する事業への取組状況			少年の現代的な課題や今日的な少年教育の課題に対応した事業では、特に「長期自然体験活動の充実と推進」「不登校児童・生徒等の適応」「総合的な学習の時間の充実」「環境学習の充実と促進」「障害児等の体験活動の充実」などをテーマとした事業を地域の連携協力を得て実施した。																																																										
			<table><tr><th colspan="2">事 業 内 容</th><th>事業数</th><th>参加者数</th><th>満足度</th></tr><tr><td colspan="2">①施設の特色・立地条件を生かした事業</td><td>16</td><td>1,142</td><td>98.1%</td></tr><tr><td colspan="2">②少年の現代的な課題等に対応した事業</td><td>53</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="8">対 応 課 題</td><td>ア.「長期自然体験活動」</td><td>14</td><td rowspan="8">4,677</td><td rowspan="8">96.5%</td></tr><tr><td>イ.「不登校児童・生徒等」対応</td><td>10</td></tr><tr><td>ウ.学校と連携した「総合的な学習の時間」</td><td>8</td></tr><tr><td>エ.「障害児教育・ノーマライゼーション」</td><td>5</td></tr><tr><td>オ.「環境教育」</td><td>5</td></tr><tr><td>カ.「国際理解・国際交流」</td><td>3</td></tr><tr><td>キ.「科学教育」</td><td>4</td></tr><tr><td>ク.「異文化交流」</td><td>3</td></tr><tr><td>ケ.「奉仕体験・奉仕活動」</td><td>1</td></tr><tr><td colspan="2">③公立少年自然の家等のモデルとしての先導的事业</td><td>15</td><td>1,001</td><td>98.3%</td></tr><tr><td colspan="2">④教育活動を積極的に外部に発信できる重点事業</td><td>29</td><td>1,870</td><td>96.7%</td></tr><tr><td colspan="2">⑤自然体験活動の教育効果を立証する事業</td><td>20</td><td>1,325</td><td>96.4%</td></tr><tr><td colspan="2">⑥その他少年の健全育成を図るための事業など</td><td>17</td><td>3,187</td><td>95.8%</td></tr></table>	事 業 内 容			事業数	参加者数	満足度	①施設の特色・立地条件を生かした事業		16	1,142	98.1%	②少年の現代的な課題等に対応した事業		53			対 応 課 題	ア.「長期自然体験活動」	14	4,677	96.5%	イ.「不登校児童・生徒等」対応	10	ウ.学校と連携した「総合的な学習の時間」	8	エ.「障害児教育・ノーマライゼーション」	5	オ.「環境教育」	5	カ.「国際理解・国際交流」	3	キ.「科学教育」	4	ク.「異文化交流」	3	ケ.「奉仕体験・奉仕活動」	1	③公立少年自然の家等のモデルとしての先導的事业		15	1,001	98.3%	④教育活動を積極的に外部に発信できる重点事業		29	1,870	96.7%	⑤自然体験活動の教育効果を立証する事業		20	1,325	96.4%	⑥その他少年の健全育成を図るための事業など		17	3,187	95.8%	
事 業 内 容		事業数	参加者数	満足度																																																									
①施設の特色・立地条件を生かした事業		16	1,142	98.1%																																																									
②少年の現代的な課題等に対応した事業		53																																																											
対 応 課 題	ア.「長期自然体験活動」	14	4,677	96.5%																																																									
	イ.「不登校児童・生徒等」対応	10																																																											
	ウ.学校と連携した「総合的な学習の時間」	8																																																											
	エ.「障害児教育・ノーマライゼーション」	5																																																											
	オ.「環境教育」	5																																																											
	カ.「国際理解・国際交流」	3																																																											
	キ.「科学教育」	4																																																											
	ク.「異文化交流」	3																																																											
ケ.「奉仕体験・奉仕活動」	1																																																												
③公立少年自然の家等のモデルとしての先導的事业		15	1,001	98.3%																																																									
④教育活動を積極的に外部に発信できる重点事業		29	1,870	96.7%																																																									
⑤自然体験活動の教育効果を立証する事業		20	1,325	96.4%																																																									
⑥その他少年の健全育成を図るための事業など		17	3,187	95.8%																																																									
アンケート調査による参加者の満足度 ★目標：80％以上	90%以上	80%以上 90%未満	80%未満	○これらのうち、29事業を「重点事業」として位置付け、外部の専門家等を含む「プログラム企画・評価委員会」等の助言を得て事業を展開し、その成果を関係機関に発信することができた。 ○継続事業についても同様に外部の専門家を含む検討会議を開催して参加者や地域のニーズ、少年の現代的課題、国立施設としての役割等から事業の必要性等を検討し、事業の廃止や統合を行うとともに、新規に71事業を立上げ、実施した。※詳細は別添資料P1～15参照																																																									
②学校週5日制対応事業についての取組状況				96.4%																																																									
				学校週5日制の完全実施により、「学校週5日制対応事業」の充実を図り、子どもとその家族など、年間を通して約2万5千人に活動の機会と場を提供した。この事業を通して、学校週5日制時における学校外活動を充実させるとともに、自然の中での家族の体験活動やコミュニケーションの機会を提供できた。※詳細は別添資料P16～18参照																																																									
				<table><tr><td rowspan="2">取 組 状 況</td><td>・本年度から開始された「完全学校週5日制」に合わせ、シリーズ事業を含め67事業を実施した。 ・四季を通して各施設の立地条件や特色を生かした多様な体験活動（自然体験、農林漁業体験、創作活動、伝統文化活動体験など）を提供し、少年や家族等に、学校が休業となった土曜日を中心とする、学校外活動の機会を提供することができた。 ・学校週5日制対応事業、施設開放事業を通して、参加者に少年自然の家の持つ教育機能の理解を深めることができた。 ・ボランティアに対する自主的な活動の場と機会を提供することができた。</td></tr><tr><td>参加人数</td><td>25,662人（前年度比 12,851人増）</td></tr></table>	取 組 状 況	・本年度から開始された「完全学校週5日制」に合わせ、シリーズ事業を含め67事業を実施した。 ・四季を通して各施設の立地条件や特色を生かした多様な体験活動（自然体験、農林漁業体験、創作活動、伝統文化活動体験など）を提供し、少年や家族等に、学校が休業となった土曜日を中心とする、学校外活動の機会を提供することができた。 ・学校週5日制対応事業、施設開放事業を通して、参加者に少年自然の家の持つ教育機能の理解を深めることができた。 ・ボランティアに対する自主的な活動の場と機会を提供することができた。	参加人数	25,662人（前年度比 12,851人増）																																																					
取 組 状 況	・本年度から開始された「完全学校週5日制」に合わせ、シリーズ事業を含め67事業を実施した。 ・四季を通して各施設の立地条件や特色を生かした多様な体験活動（自然体験、農林漁業体験、創作活動、伝統文化活動体験など）を提供し、少年や家族等に、学校が休業となった土曜日を中心とする、学校外活動の機会を提供することができた。 ・学校週5日制対応事業、施設開放事業を通して、参加者に少年自然の家の持つ教育機能の理解を深めることができた。 ・ボランティアに対する自主的な活動の場と機会を提供することができた。																																																												
	参加人数	25,662人（前年度比 12,851人増）																																																											
アンケート調査による参加者の満足度 ★目標：80％以上	90%以上	80%以上 90%未満	80%未満	93.2%																																																									

	③プログラムの開発及び普及状況		少年の体験を通した学習活動の可能性を探り、その充実を図るプログラムや少年自然の家と学校教育活動との連携・融合を推進するためのプログラムなど、少年や少年教育指導者等を対象とした主催事業を通して、新規事業8、継続開発を含め、合わせて23のプログラム開発及び13の調査研究を専門家等の協力を得て行った。※詳細は別添資料P19～21参照 <table><tr><td rowspan="5">取 組 状 況</td><td>事業プログラムの開発</td><td>事業数</td></tr><tr><td>①学校と連携した事業プログラム</td><td>6</td></tr><tr><td>②少年の自主性・社会性を育む事業プログラム</td><td>9</td></tr><tr><td>③不登校児童生徒の適応を目的とした事業プログラム</td><td>4</td></tr><tr><td>④テーマを定めた実証的研究事業を通したプログラム</td><td>4</td></tr><tr><td></td><td>調 査 研 究</td><td></td></tr><tr><td></td><td colspan="2">・『長期の自然体験・生活体験活動の効果』『悩みを抱える中学生の自己概念・自己効力感・意思伝達能力等の変容』『障害児の自我関与による人間関係能力・生活能力等を高めるプログラム開発』など13の調査研究を実施。</td></tr></table>	取 組 状 況	事業プログラムの開発	事業数	①学校と連携した事業プログラム	6	②少年の自主性・社会性を育む事業プログラム	9	③不登校児童生徒の適応を目的とした事業プログラム	4	④テーマを定めた実証的研究事業を通したプログラム	4		調 査 研 究			・『長期の自然体験・生活体験活動の効果』『悩みを抱える中学生の自己概念・自己効力感・意思伝達能力等の変容』『障害児の自我関与による人間関係能力・生活能力等を高めるプログラム開発』など13の調査研究を実施。																																							
取 組 状 況	事業プログラムの開発	事業数																																																								
	①学校と連携した事業プログラム	6																																																								
	②少年の自主性・社会性を育む事業プログラム	9																																																								
	③不登校児童生徒の適応を目的とした事業プログラム	4																																																								
	④テーマを定めた実証的研究事業を通したプログラム	4																																																								
	調 査 研 究																																																									
	・『長期の自然体験・生活体験活動の効果』『悩みを抱える中学生の自己概念・自己効力感・意思伝達能力等の変容』『障害児の自我関与による人間関係能力・生活能力等を高めるプログラム開発』など13の調査研究を実施。																																																									
	④事業成果及び調査研究の取りまとめ状況と関係機関への普及状況		主催事業やプログラム開発を通して得た成果は、「調査研究報告書」「主催事業実施報告書」として取りまとめを行い、その成果を公立少年自然の家、県市町村の教育委員会、その他教育関係機関等に広く配付し、普及に努めた。 ○事業成果・調査研究の取りまとめ状況 <table><tr><td>事業成果報告書等</td><td colspan="2">刊 行 数</td></tr><tr><td rowspan="2">主催事業実施報告書等</td><td>主催事業報告書 40</td><td rowspan="2">43</td></tr><tr><td>所報 3</td></tr><tr><td>調査研究報告書等</td><td></td><td>13</td></tr><tr><td>合 計</td><td></td><td>56</td></tr></table> ☆調査研究報告書の内容 <table><tr><td>施設名</td><td>報告書名</td><td>冊数</td></tr><tr><td>日高</td><td>シンリムカ（ボランティア登録制度、ボランティア学習、長期自然体験事業）</td><td>300</td></tr><tr><td rowspan="2">那須甲子</td><td>長期自然体験活動の効果に関する調査</td><td>1,000</td></tr><tr><td>子どもの主体性をはぐくむ事業の開発</td><td>1,000</td></tr><tr><td rowspan="2">信州高遠</td><td>少年教育に必要な生活体験の理論と実践</td><td>2,000</td></tr><tr><td>活動プログラムの指導集</td><td>500</td></tr><tr><td rowspan="2">妙高</td><td>悩みを抱える青少年を対象とした体験活動推進事業</td><td rowspan="2">500</td></tr><tr><td>オープン・ザ・ドア</td></tr><tr><td>曾爾</td><td>CD-ROM 国立曾爾少年自然の家</td><td>5,000</td></tr><tr><td rowspan="2">吉備</td><td>長期自然体験活動の企画と展開</td><td>1,500</td></tr><tr><td>「総合的な学習の時間」を視野に入れた体験学習プログラムの開発</td><td>2,000</td></tr><tr><td>山口徳地</td><td>プロジェクトアドベンチャー施設の活用について</td><td>400</td></tr><tr><td>室戸</td><td>海の自然体験活動研究会報告書</td><td>1,000</td></tr><tr><td rowspan="3">夜須高原</td><td>夜須高原自然地域シリーズ（夜須式星座早見盤）</td><td rowspan="3">各200</td></tr><tr><td>夜須高原自然地域シリーズ（夜須高原のシイタケさん）</td></tr><tr><td>夜須高原自然地域シリーズ（夜須のタケ取り物語）</td></tr><tr><td>本部</td><td>少年自然の家利用に関する学校の意識等調査</td><td>500</td></tr></table>	事業成果報告書等	刊 行 数		主催事業実施報告書等	主催事業報告書 40	43	所報 3	調査研究報告書等		13	合 計		56	施設名	報告書名	冊数	日高	シンリムカ（ボランティア登録制度、ボランティア学習、長期自然体験事業）	300	那須甲子	長期自然体験活動の効果に関する調査	1,000	子どもの主体性をはぐくむ事業の開発	1,000	信州高遠	少年教育に必要な生活体験の理論と実践	2,000	活動プログラムの指導集	500	妙高	悩みを抱える青少年を対象とした体験活動推進事業	500	オープン・ザ・ドア	曾爾	CD-ROM 国立曾爾少年自然の家	5,000	吉備	長期自然体験活動の企画と展開	1,500	「総合的な学習の時間」を視野に入れた体験学習プログラムの開発	2,000	山口徳地	プロジェクトアドベンチャー施設の活用について	400	室戸	海の自然体験活動研究会報告書	1,000	夜須高原	夜須高原自然地域シリーズ（夜須式星座早見盤）	各200	夜須高原自然地域シリーズ（夜須高原のシイタケさん）	夜須高原自然地域シリーズ（夜須のタケ取り物語）	本部	少年自然の家利用に関する学校の意識等調査	500
事業成果報告書等	刊 行 数																																																									
主催事業実施報告書等	主催事業報告書 40	43																																																								
	所報 3																																																									
調査研究報告書等		13																																																								
合 計		56																																																								
施設名	報告書名	冊数																																																								
日高	シンリムカ（ボランティア登録制度、ボランティア学習、長期自然体験事業）	300																																																								
那須甲子	長期自然体験活動の効果に関する調査	1,000																																																								
	子どもの主体性をはぐくむ事業の開発	1,000																																																								
信州高遠	少年教育に必要な生活体験の理論と実践	2,000																																																								
	活動プログラムの指導集	500																																																								
妙高	悩みを抱える青少年を対象とした体験活動推進事業	500																																																								
	オープン・ザ・ドア																																																									
曾爾	CD-ROM 国立曾爾少年自然の家	5,000																																																								
吉備	長期自然体験活動の企画と展開	1,500																																																								
	「総合的な学習の時間」を視野に入れた体験学習プログラムの開発	2,000																																																								
山口徳地	プロジェクトアドベンチャー施設の活用について	400																																																								
室戸	海の自然体験活動研究会報告書	1,000																																																								
夜須高原	夜須高原自然地域シリーズ（夜須式星座早見盤）	各200																																																								
	夜須高原自然地域シリーズ（夜須高原のシイタケさん）																																																									
	夜須高原自然地域シリーズ（夜須のタケ取り物語）																																																									
本部	少年自然の家利用に関する学校の意識等調査	500																																																								

2 少年の団体宿泊訓練のための利用に供するとともに、少年の団体宿泊訓練についての指導及び助言に関する事項・受入れ事業 (1)施設を、少年の健全育成を目的として学校、団体、グループなどが実施する、少年及び少年教育に携わる指導者を対象にした団体宿泊訓練のための利用に供する。 (2)広報活動を積極的に行い、これまで青少年教育施設を利用したことのない団体を受け入れる。 (3)公立施設では受入れが困難な大規模（200人超）利用・長期利用（5日以上）及び新規団体の利用などにも配慮しつつ、毎年度130万人程度の利用者を受け入れる。 (4)利用団体が利用目的を達成するために必要な指導・助言の在り方を検討し、事前の利用相談等において適切な指導・助言を行い、全利用団体の最低70%を超える利用 団体が目的を達成するよう事業を行う。 (5)少年自然の家職員に対し、指導能力向上、企画能力向上、接遇の向上など、施設内外での研修機会を与える。 (6)利用団体の活動支援のための外部研修指導員、施設利用者に対して様々な援助を行うボランティアなどの確保及び資質・指導力向上のための研修機会を設け、利用団体のニーズに即した支援を行う。	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。			「受入れ事業における評価の視点」 ○年度内の目標稼働数の確保（130万人程度）○指導・助言に対する利用者の満足度（70%以上） ○利用目的の達成度（70%以上）○新規団体の利用促進と広報活動の実施状況○利用者サービスの向上と職員研修の状況○利用団体の活動を支援する人材の確保と資質向上の研修状況○利用者の視点に立った改善状況 (中期目標期間中の全国の学校利用割合（法人としての目標値）） 小学校・中学校・特殊教育諸学校：各10%以上						A 各施設とも学校等への直接訪問をはじめとする積極的な広報活動により、小・中学校や青少年団体の利用促進に努め、目標の130万人を大きく上回る139万人を受け入れるとともに、新規利用団体が46%であることは、幅広い広報活動の結果であると評価できます。 また、利用者の満足度についてすべての項目で90%以上の高い満足度を得ていることは評価できます。 更に、受入れ事業において、法人独自の学校利用に係る割合（目標値）を掲げた取組みは、高く評価できます。 今後は、一層、各施設のホームページの充実を図るとともに、利用団体の活動を支援するボランティアや専門的指導員の計画的な養成と確保に一層努めていくことが望まれます。																																																					
①年間の稼働数 ★目標：130万人程度	143万人以上	130万人以上 143万人未満	130万人未満	★目標：130万人程度 平成14年度の稼働状況としては、目標である130万人程度を上回り、139万人であった。なお、利用団体を対象別にみると、75.3%が、「小学校」「中学校」「盲・聾・養護学校」の児童生徒、及び「青少年団体・グループ」「青少年教育施設・社会教育関係団体」「家族」など、少年及び少年教育関係者である。 ☆月別稼働数・利用団体数																																																											
				<table><tr><td></td><td>稼働数</td><td>団体数</td><td></td><td>稼働数</td><td>団体数</td></tr><tr><td>4月</td><td>127,643</td><td>1,286</td><td>10月</td><td>122,661</td><td>1,350</td></tr><tr><td>5月</td><td>179,207</td><td>1,953</td><td>11月</td><td>62,786</td><td>974</td></tr><tr><td>6月</td><td>166,202</td><td>1,887</td><td>12月</td><td>27,385</td><td>552</td></tr><tr><td>7月</td><td>174,604</td><td>2,052</td><td>1月</td><td>49,987</td><td>684</td></tr><tr><td>8月</td><td>217,441</td><td>2,819</td><td>2月</td><td>67,101</td><td>940</td></tr><tr><td>9月</td><td>121,687</td><td>1,460</td><td>3月</td><td>76,160</td><td>1,287</td></tr><tr><td colspan="3"></td><td>合 計</td><td>1,392,864</td><td>17,244</td></tr></table> ※ 平成13年度稼働数1,346,962人 団体数14,231 平成14年度稼働数1,392,864人 団体数17,244 稼働数の増45,902人 (前年度比3.3%の増)								稼働数	団体数		稼働数	団体数	4月	127,643	1,286	10月	122,661	1,350	5月	179,207	1,953	11月	62,786	974	6月	166,202	1,887	12月	27,385	552	7月	174,604	2,052	1月	49,987	684	8月	217,441	2,819	2月	67,101	940	9月	121,687	1,460	3月	76,160	1,287				合 計	1,392,864	17,244					
	稼働数	団体数		稼働数	団体数																																																										
4月	127,643	1,286	10月	122,661	1,350																																																										
5月	179,207	1,953	11月	62,786	974																																																										
6月	166,202	1,887	12月	27,385	552																																																										
7月	174,604	2,052	1月	49,987	684																																																										
8月	217,441	2,819	2月	67,101	940																																																										
9月	121,687	1,460	3月	76,160	1,287																																																										
			合 計	1,392,864	17,244																																																										
②新規利用団体受入れに対する取組状況				☆施設別稼働数・利用団体数																																																											
				<table><tr><td>施設名</td><td>稼働数</td><td>団体数</td><td>施設名</td><td>稼働数</td><td>団体数</td></tr><tr><td>日 高</td><td>92,032</td><td>1,213</td><td>曾 爾</td><td>115,909</td><td>1,422</td></tr><tr><td>花 山</td><td>92,006</td><td>1,190</td><td>吉 備</td><td>96,494</td><td>1,025</td></tr><tr><td>那須甲子</td><td>160,416</td><td>1,917</td><td>山口徳地</td><td>87,185</td><td>1,681</td></tr><tr><td>信州高遠</td><td>103,122</td><td>1,124</td><td>室 戸</td><td>63,875</td><td>1,014</td></tr><tr><td>妙 高</td><td>107,047</td><td>1,105</td><td>夜須高原</td><td>129,504</td><td>1,395</td></tr><tr><td>立 山</td><td>83,913</td><td>1,056</td><td>諫 早</td><td>100,628</td><td>872</td></tr><tr><td>若狭湾</td><td>78,957</td><td>723</td><td>大 隅</td><td>81,776</td><td>1,507</td></tr><tr><td colspan="3"></td><td>合 計</td><td>1,392,864</td><td>17,244</td></tr></table>						施設名	稼働数	団体数	施設名	稼働数	団体数	日 高	92,032	1,213	曾 爾	115,909	1,422	花 山	92,006	1,190	吉 備	96,494	1,025	那須甲子	160,416	1,917	山口徳地	87,185	1,681	信州高遠	103,122	1,124	室 戸	63,875	1,014	妙 高	107,047	1,105	夜須高原	129,504	1,395	立 山	83,913	1,056	諫 早	100,628	872	若狭湾	78,957	723	大 隅	81,776	1,507				合 計	1,392,864	17,244
施設名	稼働数	団体数	施設名	稼働数	団体数																																																										
日 高	92,032	1,213	曾 爾	115,909	1,422																																																										
花 山	92,006	1,190	吉 備	96,494	1,025																																																										
那須甲子	160,416	1,917	山口徳地	87,185	1,681																																																										
信州高遠	103,122	1,124	室 戸	63,875	1,014																																																										
妙 高	107,047	1,105	夜須高原	129,504	1,395																																																										
立 山	83,913	1,056	諫 早	100,628	872																																																										
若狭湾	78,957	723	大 隅	81,776	1,507																																																										
			合 計	1,392,864	17,244																																																										
③指導・助言に対する満足度 ★目標：70%以上	80%以上	70%以上 80%未満	70%未満	☆事前打合せ等の指導・助言に対する満足度																																																											
				<table><tr><td colspan="3">事前打合せを実施された場合、今回の利用に生かされましたか。</td></tr><tr><td colspan="3">回収数 7,645</td></tr><tr><td rowspan="2">満 足</td><td>とても生かされた</td><td rowspan="2">93.9%</td></tr><tr><td>生かされた</td></tr><tr><td rowspan="2">不 満</td><td>あまり生かされなかった</td><td rowspan="2">6.1%</td></tr><tr><td>全く生かされなかった</td></tr></table>						事前打合せを実施された場合、今回の利用に生かされましたか。			回収数 7,645			満 足	とても生かされた	93.9%	生かされた	不 満	あまり生かされなかった	6.1%	全く生かされなかった																																								
事前打合せを実施された場合、今回の利用に生かされましたか。																																																															
回収数 7,645																																																															
満 足	とても生かされた	93.9%																																																													
	生かされた																																																														
不 満	あまり生かされなかった	6.1%																																																													
	全く生かされなかった																																																														

④アンケート調査による 利用者の満足度 ★目標：70%以上	80%以上	70%以上 80%未満	70%未満	平成13年度の法人化以来、各施設共に顧客満足度を高めるために、アンケート、専門家・地域住民との懇談会等の意見を踏まえた様々な業務改善を行っている。その結果、「生活面に対する満足度(91.5%)」「活動面に対する満足度(91.9%)」「職員に対する満足度(91.7%)」「利用目的の達成度(97.1%)」と14施設全体の平均で高い満足度が得られた。なお、各項目に対する「不満」についてはアンケートを詳細に分析し、改善に努めている。 ☆生活面に対する満足度 <table><tr><th colspan="3">少年自然の家の生活はいかがでしたか</th></tr><tr><td colspan="3">回収数 8,229</td></tr><tr><td rowspan="2">満 足</td><td>とても良い</td><td rowspan="2">91.5%</td></tr><tr><td>良い</td></tr><tr><td rowspan="3">不 満</td><td>どちらとも言えない</td><td rowspan="3">8.5%</td></tr><tr><td>あまり良くない</td></tr><tr><td>悪い</td></tr></table> ☆活動面に対する満足度 <table><tr><th colspan="3">少年自然の家の活動はいかがでしたか</th></tr><tr><td colspan="3">回収数 8,573</td></tr><tr><td rowspan="2">満 足</td><td>とても良い</td><td rowspan="2">91.9%</td></tr><tr><td>良い</td></tr><tr><td rowspan="3">不 満</td><td>どちらとも言えない</td><td rowspan="3">8.1%</td></tr><tr><td>あまり良くない</td></tr><tr><td>悪い</td></tr></table> ☆職員に対する満足度 <table><tr><th colspan="3">職員の対応や指導はいかがでしたか</th></tr><tr><td colspan="3">回収数 8,777</td></tr><tr><td rowspan="2">満 足</td><td>とても良い</td><td rowspan="2">91.7%</td></tr><tr><td>良 い</td></tr><tr><td rowspan="3">不 満</td><td>どちらとも言えない</td><td rowspan="3">8.3%</td></tr><tr><td>あまり良くない</td></tr><tr><td>良くない</td></tr></table> ☆利用目的の達成度 <table><tr><th colspan="3">利用目的は達成されましたか</th></tr><tr><td colspan="3">回収数 8,696</td></tr><tr><td rowspan="2">満 足</td><td>達成された</td><td rowspan="2">97.1%</td></tr><tr><td>ほぼ達成された</td></tr><tr><td>不 満</td><td>達成できなかった</td><td>2.9%</td></tr></table>	少年自然の家の生活はいかがでしたか			回収数 8,229			満 足	とても良い	91.5%	良い	不 満	どちらとも言えない	8.5%	あまり良くない	悪い	少年自然の家の活動はいかがでしたか			回収数 8,573			満 足	とても良い	91.9%	良い	不 満	どちらとも言えない	8.1%	あまり良くない	悪い	職員の対応や指導はいかがでしたか			回収数 8,777			満 足	とても良い	91.7%	良 い	不 満	どちらとも言えない	8.3%	あまり良くない	良くない	利用目的は達成されましたか			回収数 8,696			満 足	達成された	97.1%	ほぼ達成された	不 満	達成できなかった	2.9%
少年自然の家の生活はいかがでしたか																																																														
回収数 8,229																																																														
満 足	とても良い	91.5%																																																												
	良い																																																													
不 満	どちらとも言えない	8.5%																																																												
	あまり良くない																																																													
	悪い																																																													
少年自然の家の活動はいかがでしたか																																																														
回収数 8,573																																																														
満 足	とても良い	91.9%																																																												
	良い																																																													
不 満	どちらとも言えない	8.1%																																																												
	あまり良くない																																																													
	悪い																																																													
職員の対応や指導はいかがでしたか																																																														
回収数 8,777																																																														
満 足	とても良い	91.7%																																																												
	良 い																																																													
不 満	どちらとも言えない	8.3%																																																												
	あまり良くない																																																													
	良くない																																																													
利用目的は達成されましたか																																																														
回収数 8,696																																																														
満 足	達成された	97.1%																																																												
	ほぼ達成された																																																													
不 満	達成できなかった	2.9%																																																												
⑤利用者サービス向上のための職員に対する研修の計画的な実施状況				法人2年目となった14年度は、各施設とも「職員の資質向上を図るための研修」「接遇研修」「新任職員研修」等、利用者サービスの向上を目指した内部研修を積極的に実施した。 また、外部研修においては、資質向上のための研修に職員を派遣するとともに、指導者としての専門性を高める研修への参加を積極的に行った。なお、次年度からの職員の専門性・指導能力の向上を目指す「長期海外実践研修」の実施に向けての準備を進めた。 ☆「内部研修」 <table><tr><th>区 分 及 び 内 容</th><th>件 数</th><th>延べ参加者数(人)</th></tr><tr><td>職員の資質向上を図るための実践的研修事業等の実施</td><td>42</td><td>330</td></tr><tr><td>接遇に関する研修</td><td>17</td><td>206</td></tr><tr><td>防災・救急法等の研修</td><td>31</td><td>530</td></tr><tr><td>活動プログラムの習得の研修</td><td>46</td><td>1,136</td></tr><tr><td>新任職員に対する研修</td><td>19</td><td>111</td></tr><tr><td>その他の研修</td><td>13</td><td>159</td></tr><tr><td>合 計</td><td>168</td><td>2,472</td></tr></table>	区 分 及 び 内 容	件 数	延べ参加者数(人)	職員の資質向上を図るための実践的研修事業等の実施	42	330	接遇に関する研修	17	206	防災・救急法等の研修	31	530	活動プログラムの習得の研修	46	1,136	新任職員に対する研修	19	111	その他の研修	13	159	合 計	168	2,472																																		
区 分 及 び 内 容	件 数	延べ参加者数(人)																																																												
職員の資質向上を図るための実践的研修事業等の実施	42	330																																																												
接遇に関する研修	17	206																																																												
防災・救急法等の研修	31	530																																																												
活動プログラムの習得の研修	46	1,136																																																												
新任職員に対する研修	19	111																																																												
その他の研修	13	159																																																												
合 計	168	2,472																																																												

			☆「外部研修」 <table><tr><th>区 分 及 び 内 容</th><th>件 数</th><th>参加者数(人)</th></tr><tr><td>施設職員としての資質向上を図る研修</td><td>52</td><td>202</td></tr><tr><td>自然体験に関する研修</td><td>18</td><td>26</td></tr><tr><td>社会教育に関する研修</td><td>6</td><td>23</td></tr><tr><td>青少年指導者の国際理解に関する研修</td><td>6</td><td>19</td></tr><tr><td>安全管理・健康管理に関する研修</td><td>22</td><td>65</td></tr><tr><td>実務研修</td><td>64</td><td>94</td></tr><tr><td>接遇に関する研修</td><td>2</td><td>19</td></tr><tr><td>合 計</td><td>170</td><td>448</td></tr></table>	区 分 及 び 内 容	件 数	参加者数(人)	施設職員としての資質向上を図る研修	52	202	自然体験に関する研修	18	26	社会教育に関する研修	6	23	青少年指導者の国際理解に関する研修	6	19	安全管理・健康管理に関する研修	22	65	実務研修	64	94	接遇に関する研修	2	19	合 計	170	448		
区 分 及 び 内 容	件 数	参加者数(人)																														
施設職員としての資質向上を図る研修	52	202																														
自然体験に関する研修	18	26																														
社会教育に関する研修	6	23																														
青少年指導者の国際理解に関する研修	6	19																														
安全管理・健康管理に関する研修	22	65																														
実務研修	64	94																														
接遇に関する研修	2	19																														
合 計	170	448																														
	⑥利用団体の活動支援のための人材等の確保及び資質等向上のための研修実施状況		☆人材等の確保 多分野にわたる外部の専門的指導員を確保するため、地域で各種の技能を持つ人材の登録、他機関や地域からの人材発掘、推薦、「人材バンク」の共有などを行い、専門的指導員の確保に努めた。ボランティアの確保・研修については、9ページ参照。 平成14年度における利用団体の活動を支援する外部の専門的指導員は、428名である。 また、ボランティアの登録者数は1,069名である。 ☆資質向上のための研修 <table><tr><th>研 修 内 容</th><th>実施施設</th><th>参加人数(人)</th></tr><tr><td>指導員と職員の相互研修会</td><td>4</td><td>68</td></tr><tr><td>指導員連絡会</td><td>3</td><td>84</td></tr><tr><td>能力向上のためのリーダー研修会</td><td>2</td><td>70</td></tr><tr><td>ボランティアの資質向上研修</td><td>6</td><td>142</td></tr><tr><td>指導員に対する所長等の講話</td><td>2</td><td>52</td></tr><tr><td>合 計</td><td>17</td><td>416</td></tr></table>	研 修 内 容	実施施設	参加人数(人)	指導員と職員の相互研修会	4	68	指導員連絡会	3	84	能力向上のためのリーダー研修会	2	70	ボランティアの資質向上研修	6	142	指導員に対する所長等の講話	2	52	合 計	17	416								
研 修 内 容	実施施設	参加人数(人)																														
指導員と職員の相互研修会	4	68																														
指導員連絡会	3	84																														
能力向上のためのリーダー研修会	2	70																														
ボランティアの資質向上研修	6	142																														
指導員に対する所長等の講話	2	52																														
合 計	17	416																														
3 少年の団体宿泊訓練に関し、少年教育指導者の研修に関する事項・主催事業 (1)特に専門性の高い、少年教育に携わる指導者の資質向上を目的とした、次のようなブロック規模・全国規模の研修事業や地域課題に対応した研修事業を実施する。 ア 少年団体指導者、施設職員等を対象にした研修 イ ボランティア養成研修 ウ 外部研修指導員を対象にした研修 エ 指導者の企画力や専門性を高める研修	少年教育指導者研修の実施状況 ①少年団体指導者、施設職員等を対象とした研修の実施状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。	少年団体や利用団体の指導者、少年自然の家職員等を対象に、指導力や資質向上を図り、企画力や専門性を高めるため指導者研修事業を下記のとおり実施した。 また、本部主催による、少年自然の家での「総合的な学習の時間」を普及するための校長・教頭等の管理職を対象とした「体験活動研究協議会」を実施することにより、少年自然の家や体験活動に対する理解を図った。※詳細は別添資料P22～29参照 ☆少年教育指導者等を対象とした研修 <table><tr><th>研 修 内 容</th><th>事業数</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>①少年団体指導者等を対象とした研修</td><td>14</td><td>933</td></tr><tr><td>②公立施設職員を対象とした研修</td><td>9</td><td>265</td></tr><tr><td>③ボランティアの養成・資質向上研修</td><td>21</td><td>840</td></tr><tr><td>④指導者の企画力・専門性を高める研修</td><td>14</td><td>561</td></tr><tr><td>⑤民間団体・専門機関との連携事業</td><td>21</td><td>1,074</td></tr><tr><td>合 計</td><td>79</td><td>3,673</td></tr></table>	研 修 内 容	事業数	参加者数	①少年団体指導者等を対象とした研修	14	933	②公立施設職員を対象とした研修	9	265	③ボランティアの養成・資質向上研修	21	840	④指導者の企画力・専門性を高める研修	14	561	⑤民間団体・専門機関との連携事業	21	1,074	合 計	79	3,673	A	少年教育指導者研修を法人全体として体系的に実施していくため、研修形態や法人本部と各施設の役割分担の在り方、研修プログラムの検討など、体系化に向けた取組みに成果がみられました。 今後は、この体系化に基づく専門性の高い少年教育指導者・スタッフの養成とボランティア養成プログラムの整備に努め、指導者研修事業が一層充実していくことが望まれます。						
研 修 内 容	事業数	参加者数																														
①少年団体指導者等を対象とした研修	14	933																														
②公立施設職員を対象とした研修	9	265																														
③ボランティアの養成・資質向上研修	21	840																														
④指導者の企画力・専門性を高める研修	14	561																														
⑤民間団体・専門機関との連携事業	21	1,074																														
合 計	79	3,673																														
	アンケート調査による参加者の満足度 ★目標：80%以上	90%以上 80%以上 80%未満 90%未満	93.7%																													

	②ボランティア養成研修の実施状況		高校生から社会人を対象としたボランティア養成事業を実施し、840名のボランティア希望者の参加を得ることができた。また、少年自然の家におけるボランティアの資質や技術向上を図るため、実践的な資質向上研修を実施した。 更に、ボランティアの企画による事業等を実施することにより、実践的な指導法を習得する機会を提供した。 ☆ボランティア研修事業 <table><tr><th>研 修 内 容</th><th>事業数</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>養成研修</td><td>16</td><td>698</td></tr><tr><td>資質向上研修</td><td>5</td><td>142</td></tr><tr><td>合 計</td><td>21</td><td>840</td></tr></table>			研 修 内 容	事業数	参加者数	養成研修	16	698	資質向上研修	5	142	合 計	21	840	
研 修 内 容	事業数	参加者数																
養成研修	16	698																
資質向上研修	5	142																
合 計	21	840																
	アンケート調査による参加者の満足度 ★目標：80%以上	90%以上	80%以上 90%未満	80%未満	96.9%													
4 前項の業務に附帯する事項 (1)施設・設備の充実 主催事業参加者や利用団体の意見やニーズを把握し、団体宿泊訓練が効果的に行われるような施設・設備の計画的充実を図る。 (2)広報活動の充実を図るための計画刊行物等広報関係資料の配布など、事業の広報活動及び実施事業の成果の普及・啓発等を各施設の実状等を踏まえて効率的に行う。	附帯業務の実施状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。																
	①施設・設備の計画的充実に関する取組状況		※「Ⅶ－1 施設・設備の整備状況」に記載															
	②広報活動の充実に関する取組状況		※「Ⅱ－1 主催事業の実施事業、Ⅱ－2 受入事業の実施状況」に記載															

○財務内容の改善に関する事項

中 期 計 画 の 各 項 目	評 価 項 目	評 価 基 準			評 価 に 係 る 実 績	評 定	
	指 標	A	B	C		A B C 評 定	留 意 事 項
III 予算、収支計画及び資金計画							
1 期間全体に係る予算 2 期間全体に係る収支計画 3 期間全体に係る資金計画	収入の確保等の状況 ①自己収入の受入状況 ★目標：１００％ 自己収入決算額／自己収入予算額 ②外部資金の受入れ状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。 110%以上 100%以上 110%未満			少年自然の家は、「国立少年自然の家利用規則」第6条の規定において施設の利用に伴う対価を徴収しないこととしている。従って、少年自然の家における自己収入は、施設内の土地、建物等の賃付料など限られたものとなっている。 平成１４年度自己収入予算額 3,659千円 平成１４年度自己収入決算額 3,025千円 実績：83％ 自己収入決算額3,025千円／自己収入予算額3,659千円 しかしながら、このほか平成14年度は、財団法人文教協会から研究支援（1,000千円）を受け、長期自然体験活動の効果に関する調査（那須甲子）を実施した。 平成14年度における受託研究事業として7施設が教育関係機関等5機関から受託を受け、10事業を実施した。 なお、委託事業費は総額26,410千円である。	B	外部資金については、教育関係機関や民間団体から、受託研究事業等の受入れに努めていますが、今後も民間企業等からのより積極的な受入れに努めていくことが望まれます。
IV 短期借入金の限度額							
1 短期借入金の限度額 7億円 2 想定される理由 運営費交付金の受け入れの遅延及び事故の発生等により緊急に必要となる対策費として借入することも想定される。	短期借入金の借入状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。			短期借入金の借入実績と効果、借入理由など なし		
V 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画							
計画の予定なし	重要財産の処分等状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。			重要な財産の譲渡等の実績など なし		
VI 剰余金の使途							
①主催事業、受入れ事業の充実 ②必要な施設設備の充実	剰余金の使用等の状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。			剰余金による事業実施実績及び効果、剰余金による事業実施理由など なし		

中 期 計 画 の 各 項 目	評 価 項 目	評 価 基 準			評 価 に 係 る 実 績	評 定																																										
	指 標	A	B	C		A B C 評 定	留 意 事 項																																									
VII その他文部科学省省令で定める業務運営に関する事項																																																
1 施設・設備に関する事項 (1)研修・宿泊施設等の新設、改修、増設計画等 防災、研修の充実、快適な食・住環境の確保等の観点から、必要な施設設備の新設、改修、増設等を計画的に進める。 (2)高齢者及び身障者に配慮した施設整備の推進 「高齢者及び身体障害者等が円滑に利用できる特定建築の促進に関する法律」等の基準に従い、高齢者等が円滑に施設・設備を利用できるよう配慮を行う。	施設・設備の整備状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。			(1)施設・設備の整備計画 施設を活性化させる取組みとして、主体的に整備を進める必要から、利用者のニーズに応えるとともに、老朽化の進行を食い止める方策など、利用者が安全かつ快適に生活できるよう施設等の整備を計画的に推進した。 (2)防災、研修の充実、快適な食・住環境等の確保の観点に立った整備の実績 [施設整備費補助金事業] <table><tr><th>施 設 名</th><th>事 業 名</th><th>事業費 (千円)</th></tr><tr><td>花 山</td><td>食堂及び厨房改修</td><td>7 8 , 6 4 6</td></tr><tr><td>那須甲子</td><td>宿泊棟A棟等改修</td><td>1 0 9 , 7 7 3</td></tr><tr><td>信州高遠</td><td>ログハウス改修</td><td>3 9 , 7 1 1</td></tr><tr><td>若 狭 湾</td><td>厨房設備改修</td><td>1 2 9 , 1 2 6</td></tr><tr><td>曾 爾</td><td>暖房設備改修</td><td>1 3 9 , 2 3 5</td></tr><tr><td>室 戸</td><td>浴室棟改修</td><td>6 1 , 8 3 2</td></tr><tr><td>諫 早</td><td>給水設備改修</td><td>1 0 5 , 1 9 3</td></tr><tr><td colspan="2">施設整備費補助金事業</td><td>6 6 3 , 5 1 6</td></tr></table> [施設整備資金貸付金事業 (平成13年度繰越分)] <table><tr><th>施 設 名</th><th>事 業 名</th><th>事業費 (千円)</th></tr><tr><td>若 狭 湾</td><td>宿泊棟・研修棟内部改修</td><td>2 3 9 , 6 6 7</td></tr><tr><td>吉 備</td><td>宿泊ロッジ炊飯場等改修</td><td>1 6 3 , 3 3 0</td></tr><tr><td>夜須高原</td><td>キャンプ場整備</td><td>6 8 , 1 6 5</td></tr><tr><td colspan="2">施設整備資金貸付金事業</td><td>4 7 1 , 1 6 2</td></tr></table>	施 設 名	事 業 名	事業費 (千円)	花 山	食堂及び厨房改修	7 8 , 6 4 6	那須甲子	宿泊棟A棟等改修	1 0 9 , 7 7 3	信州高遠	ログハウス改修	3 9 , 7 1 1	若 狭 湾	厨房設備改修	1 2 9 , 1 2 6	曾 爾	暖房設備改修	1 3 9 , 2 3 5	室 戸	浴室棟改修	6 1 , 8 3 2	諫 早	給水設備改修	1 0 5 , 1 9 3	施設整備費補助金事業		6 6 3 , 5 1 6	施 設 名	事 業 名	事業費 (千円)	若 狭 湾	宿泊棟・研修棟内部改修	2 3 9 , 6 6 7	吉 備	宿泊ロッジ炊飯場等改修	1 6 3 , 3 3 0	夜須高原	キャンプ場整備	6 8 , 1 6 5	施設整備資金貸付金事業		4 7 1 , 1 6 2	A 利用者の快適な食・住環境の確保や身障者等に対応した施設整備に努めるとともに、利用者のニーズを反映した施設整備に努力がみられました。 施設・設備については、引続き、身障者への配慮や受動喫煙防止への取組みをはじめ、環境に配慮した施設整備を計画的に進めていくことが望まれます。
	施 設 名	事 業 名	事業費 (千円)																																													
花 山	食堂及び厨房改修	7 8 , 6 4 6																																														
那須甲子	宿泊棟A棟等改修	1 0 9 , 7 7 3																																														
信州高遠	ログハウス改修	3 9 , 7 1 1																																														
若 狭 湾	厨房設備改修	1 2 9 , 1 2 6																																														
曾 爾	暖房設備改修	1 3 9 , 2 3 5																																														
室 戸	浴室棟改修	6 1 , 8 3 2																																														
諫 早	給水設備改修	1 0 5 , 1 9 3																																														
施設整備費補助金事業		6 6 3 , 5 1 6																																														
施 設 名	事 業 名	事業費 (千円)																																														
若 狭 湾	宿泊棟・研修棟内部改修	2 3 9 , 6 6 7																																														
吉 備	宿泊ロッジ炊飯場等改修	1 6 3 , 3 3 0																																														
夜須高原	キャンプ場整備	6 8 , 1 6 5																																														
施設整備資金貸付金事業		4 7 1 , 1 6 2																																														
①防災、研修の充実、快適な食・住環境等の確保の観点に立った施設設備の整備状況																																																

	②高齢者等に配慮した施設の整備状況		14年度の施設整備の計画に際しては、不特定多数の団体等が利用する施設としてバリアフリー化を推進し、高齢者及び身障者等も健常者と一緒に安心して活動ができる環境を整備することによって、利用目的が達成できるよう配慮した。 <table><tr><th>施設名</th><th>工事名称</th><th>工事内容</th></tr><tr><td rowspan="2">若狭湾</td><td>宿泊棟・研修棟内部改修（再掲）</td><td>スロープ設置、身障者用エレベータ設置、身障者用トイレ整備、点字ブロック設置、車椅子用洗面台設置、身障者対応ベッド設置</td></tr><tr><td>厨房設備等改修（再掲）</td><td>スロープ設置、手摺取付</td></tr><tr><td>室戸</td><td>浴室棟改修（再掲）</td><td>浴室・トイレの改修、スロープ設置、身障者用トイレ整備、洗面台設置、身障者用トイレ案内板設置</td></tr><tr><td>夜須高原</td><td>キャンプ場整備（再掲）</td><td>スロープ及び身障者用トイレ設置</td></tr></table> [利用者・主催事業参加者のニーズを踏まえた整備] ○食堂に車椅子対応テーブルの整備○玄関及び食堂前に利用者案内用電子掲示板設置○宿泊室各入口の点検調整○宿泊棟トイレに洋式トイレの整備及びコンセントの増設○キャンプ場内のテント周辺碎石敷きなど	施設名	工事名称	工事内容	若狭湾	宿泊棟・研修棟内部改修（再掲）	スロープ設置、身障者用エレベータ設置、身障者用トイレ整備、点字ブロック設置、車椅子用洗面台設置、身障者対応ベッド設置	厨房設備等改修（再掲）	スロープ設置、手摺取付	室戸	浴室棟改修（再掲）	浴室・トイレの改修、スロープ設置、身障者用トイレ整備、洗面台設置、身障者用トイレ案内板設置	夜須高原	キャンプ場整備（再掲）	スロープ及び身障者用トイレ設置	
施設名	工事名称	工事内容																
若狭湾	宿泊棟・研修棟内部改修（再掲）	スロープ設置、身障者用エレベータ設置、身障者用トイレ整備、点字ブロック設置、車椅子用洗面台設置、身障者対応ベッド設置																
	厨房設備等改修（再掲）	スロープ設置、手摺取付																
室戸	浴室棟改修（再掲）	浴室・トイレの改修、スロープ設置、身障者用トイレ整備、洗面台設置、身障者用トイレ案内板設置																
夜須高原	キャンプ場整備（再掲）	スロープ及び身障者用トイレ設置																
2 人事に関する計画 (1)方針 ア 人事サイクルを基本とした、実践的研修や専門的研修事業の活用による青少年教育施設の専門家の計画的な養成を図る。 イ 関係機関との間で幅広く計画的な人事交流を行い、多様な人材を確保する。 ウ 人事管理については新情報ネットワークシステムにおいて管理する。 (2)人員に関する指標 常勤職員について、その職員数の抑制を図る。	人事管理の状況	・法人による内部評価の結果を踏まえつつ、各委員の協議により、評定を決定する。 平成14年度においては、国や地方公共団体の職員等とのバランスも考慮しつつ、法人としての特色を活かした人事管理の在り方などに向けての具体的な取組みを行った。 特に、今後の各施設におけるより充実した事業計画を行うための専門性のある職員の養成・確保の方法、関係機関との人事交流の在り方や職員の適正な人員配置などについて「所長を構成員とするプロジェクト」会議等を設置し、具体的な検討を行うとともに、これらの検討結果を踏まえ、新たな人材の採用に向けた準備等を行った。 (1) 職員の資質向上を図るための実践的研修事業等の実施 ※II-2 ⑤利用者サービスの向上のための職員に対する研修の計画的な実施状況（P7・8）を参照 (2) 関係機関等との人事交流等の状況 将来における専門性の高い職員を計画的に育成する観点から、法人としての特色を活かした新たな採用制度や処遇の在り方などの具体的な検討に着手するとともに、その検討結果を踏まえ、平成15年4月から新たな「準専門職員」の採用に向けての諸規則の制定や他機関との交流人事の見直し等の準備を行った。 なお、平成14年度の人事交流等の状況（役員を除く）は、以下のとおりである。 <table><tr><th>国 機 関</th><th>地方公共団体</th><th>青少年団体等</th><th>合 計</th></tr><tr><td>62名</td><td>18名</td><td>1名</td><td>81名</td></tr></table> (3) 常勤職員数 平成14年度の国立少年自然の家の常勤職員数は265名である。	国 機 関	地方公共団体	青少年団体等	合 計	62名	18名	1名	81名	A	職員の資質向上を図るため、計画的に法人内外での研修に努めるとともに、平成15年度からの専門性の高い職員養成のための「長期海外実践研修」に向けての現地調査、新たなプロパー職員（準専門職員）の採用に向けた交流人事の見直しを行うなど、成果がみられました。 今後は、職員の採用に当たり、公募等を取り入れるなど、更に幅広い工夫が望まれます。 また、法人内における専門性の高い職員の計画的養成と各施設における適正な人員配置に向けて積極的な取組みが望まれます。						
国 機 関	地方公共団体	青少年団体等	合 計															
62名	18名	1名	81名															

少年を対象とした主催事業実施状況

ア 各施設の特徴・立地条件を生かした主催事業の実施

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
花山	花山自然探検隊 ① 春」はなやまの春探し ② 夏」沢登りに挑戦 ③ 秋」花山の宝探し ④ 冬」冬山ウォッチング 継続)	異年齢の子どもたちが、四季折々の自然の素晴らしさを様々なプログラムをとおして味わう。 ①植物観察などの自然散策をとおして、自然の素晴らしさを味わう。 ②沢登りに挑戦し、協力する尊さを知る。 ③地元の農家を訪ね、高齢者の方との交流をとおして、歴史や文化・生活の工夫などを調査し学び合う。 ④アニマルトレッキングやネイチャースキーをとおして、雪を利用した遊びを楽しむ。	小学3年～中学3年 ①23/30 ②45/30 ③44/30 ④39/30 ①100% ②100% ③97.7% ④94.9%	①4/26～28 2泊3日 ②5/10～12 2泊3日 ③10/26～28 1泊2日 ④2/8～9 1泊2日
那須甲子	FII子ども交流キャンプ 継続)	福島 (F)・茨城 (I)・栃木 (T)の子どもたちが、共同生活や各種の体験活動を通して交流を深めるとともにブロック内における施設連携事業のモデルとする。	小学5年生～ 中学3年生 31/30 100%	7/23～28 5泊6日
信州 高遠	農作業体験 ー親子で「春は田植え」「秋は稲刈り」をしようー 継続)	親子が、自然の中で田植えや稲刈りなどの農作業体験を通して、親子のきずなを深めるとともに、奉仕する心や勤労を尊ぶ心を育てる。また、共同作業を通して、子どもたちに誰とでも協力し合う思いやりの心を育てる。	小・中学生を含む 家族・グループ 40/40 子ども 100% 大人 97.0%	①5/18～19 ②9/21～23 各1泊2日
妙高	妙高フレンドスクール 通学キャンプ」 継続)	地元施設として、学校等と連携し通学キャンプを行い、共同宿泊生活やプロジェクトアドベンチャー、高齢者との世代間交流、学校間交流を通して、コミュニケーション能力や、自主性等を育成する。	地元小学生 53/53 100%	11/16～23 7泊8日
立山	わが町ものしり学習館 継続)	地元立山町の子どもたちが町内の自然や歴史・文化、産業について実体験を通して学ぶ。	立山町在住の児童 19/20 100%	①7/30②8/9 ③8/27④9/7 ⑤10/19～20 1泊2日
曾爾	ふれあい広場 継続)	障害のある人も自然の中でともに活動し、心の交流を深めることを通して「共生」の考えを推進し、助け合い、支え合う社会の実現を目指す。	障害のある人及びその家族、福祉関係に関心のある方 51/30 100%	6/22～23 1泊2日
	ちびっ子冒険クラブ 継続)	自然体験の機会が少なくなった子どもたちが、曾爾の自然の中での活動を通して、自然との関わり方、自立の心、思いやりの心等を身につける。	小学1～4年 83/70 97.5%	8/19～21 2泊3日
	夢冒険 真冬にとびこめ！ 新規)	冬のきびしい自然環境の中で、大自然のすばらしさを体感し、心身ともたくましい子どもを育成する	小学5・6年生及び中学生 30/30 100%	1/11～13 2泊3日
山口 徳地	ふれあい you and me サークル とくち通学合宿 継続)	地域の異年齢の子どもたちに様々な体験活動をさせることにより、心豊かな青少年の育成を図る。	徳地町内の小学4年～中学生3年 33/30 100%	2/19～22 3泊4日
室戸	黒潮の自然と文化を学ぶ ①②③④ 継続)	室戸の海や水産業に関わっている人々に話を聞いたり、実際に海洋体験をしたり水産業を見学・体験し、海に関わる文化や産業を学び、郷土を愛する心を育てるとともに海への関心を一層深める。	小学校高学年 ①38/40 100% ②45/40 95.5% ③40/40 100% ④34/40 100%	①5/11～12 ②6/15～16 ③7/13～14 ④8/3～4 各1泊2日

	ふれあい通学合宿 継続)	家庭を離れ、集団での宿泊を伴う生活を行い 自主性・社会性を育む。	地元小学校4・5・6 年生 43/30 100%	11/10～17 7泊8日
	牟岐、幡多、室戸を結ぶ 海洋体験のつどい 継続)	海での活動を通して、高知・徳島両県の子ども たちが交流を深め社会性を身につけるとともに、 海洋についての関心や探求心を育てる	小学校高学年・中 学生 40/40 100%	7/29～31 2泊3日
夜須 高原	通学キャンプ 継続)	共同生活をしながら通学をすることにより、人 間関係能力、自立心、基本的生活習慣を助長 する。	夜須町立 3小 学 校 6年生 106/100 93.5%	11/24～12/1 7泊8日
大隅	高隈連山縦走自然の旅 継続)	野営生活をしながら冬の高隈連山縦走に挑戦 し、自然の厳しさや偉大さを体得するとともに、参 加者相互の友情の輪を広げ、広い心でたくましく 実践力のある青少年を育てる。	中学生～高校生 28/30 100%	12/25～28 3泊4日
	おおすみくん家 ホームステイ 継続)	当所から通学し、日常の学校生活や自然の家 での生活を通して、異年齢集団による協力・助け 合いの心を育てるとともに自立の精神を培う。ま た、自然体験等により豊かな心やたくましさを身 につける。	小学4年生～中 学生 30/30 96.0%	2/1～8 7泊8日
	チャレンジ・ナイトウォーク 継続)	ナイトウォークに関心のある人々が一同に集 い、大正時代に初めて走った「大隅鉄道」の駅跡 を辿りながら、ふるさとの発展に尽くした鉄道の歴 史をふりかえるとともに、参加者相互の交流を図 る。	小中高生を含む 家族一般等 247/200 85.7%	3/8～9 1泊2日

イ 少年の現代的な課題等に対応した主催事業の実施

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
☆ 長期自然体験活動」対応				
日高	日高山脈冒険隊 継続)	登山やサイクリング、川下り、乗馬など長期 の野外活動を通して、自然の雄大さや厳しさを 実感するとともに、自然の生態系に配慮したキ ャンプ生活で、たくましく「生きる力」と自然愛護 の精神を養い、少年に夢と希望の冒険心を育 てる。	小学5年～中学3 年 30/30 100%	7/30～8/6 7泊8日
花山	チャレンジ！ 奥の細道完結編 継続)	芭蕉のたどった奥の細道をマウンテンバイク で移動キャンプを行いながら、地域の歴史や 文化に触れ、仲間の大切さを理解するとともに 忍耐力を養う	小学5年～中学3 年 36/30 100%	7/13～14 1泊2日 7/28～8/6 9泊10日
那須 甲子	那須甲子連峰 子どもアドベンチャー 継続)	大自然の中での長期間にわたる共同生活 や冒険活動を通して、子どもたちの自主性や 主体性をはぐくむ。	小学5年～中学3 年 30/30 100%	8/1～10 9泊10日
	ひとり立ちへの挑戦！ 君がつくる144アワー 新規)	自然の家での生活・活動、プログラムの全て を子供達が主体的に計画し実践することによ り、子どもの主体性・問題解決能力・基本的生活 習慣・自律性などを育む。	小学5年～ 中学 1年生 8/8 100%	8/19～25 6泊7日
信州 高遠	長期野外生活体験 -仲間とつくる10泊11日- 新規)	グループを作り、自然とともに生きるに必要な 生活の知恵・生きる力を、具体的な体験を通 して習得するための長期野外生活体験を行な う	小学校5年生～ 中学生 49/42 89.7%	8/1～11 10泊11日

妙高	妙高キッズ・アドベンチャー (継続)	長期間の共同宿泊体験、自然体験を通して、子どもたちの「生きる力」を育成する。プログラムの充実を図るとともに有効性について評価し、長期キャンプの先導的なプログラムを開発し、普及する。	小 5～中 学生 不登校児童生徒 若干名) 30/30 100%	7/29～8/9 11泊12日
立山	真夏のチャレンジ 立山&富山湾 (新規)	立山連峰と富山湾を結ぶ標高差3000mの自然を舞台にした共同体験を通して、自ら心や体を鍛えるとともに、参加者相互の交流を深める。	小学5年～中学3 年 29/30 92.9%	8/4～12 8泊9日
若狭湾	地域・人・自然から学ぶ ～若狭ふれあいの旅～ (継続)	長期自然体験をとおり地域の自然や文化に触れ、海との関わりについて総合的に学習する。また、参加者相互の交流と協力する事の大切さ、すばらしさを体感する。	小学5年生～中 学生 21/20 100%	7/28～8/6 9泊10日
吉備	サマーチャレンジ in きび “めざせ山の達人！ 海の達人！” (継続)	山と海を中心とした夏山登山、滝の垂直下降、ロッククライミング、フィールド着衣泳、シーカヤック、サバイバルキャンプ等で、自然の美しさや厳しさを学ぶとともに、共同での長期キャンプを通して、自主性・協調性・忍耐力を培い、心豊かな子どもの育成を図る。	小学校5年生～ 中学校3年生 25/25 100%	8/1～11 10泊11日
山口徳地	野生の夏2002 (継続)	10日間にわたり自然の中で野外活動を楽しみながら、自然への関心を深めるとともに体を鍛える。また、プロジェクトアドベンチャー教育プログラム等により参加者相互の心の交流を図る。	小・中学生 30/30 93.1%	8/18～27 9泊10日
室戸	わんぱくこども宿 (継続)	大自然の中でのキャンプを通し、様々な自然体験などに挑戦する中で、助け合いの心や困難に打ち克つ精神力を育み、心豊かな少年の育成を図る。	小学校高学年・中 学生 36/30 91.4%	8/14～ 8/24 10泊11日
夜須高原	夜須高原トム・ソーヤー塾 (継続)	日常生活では体験できない冒険的な活動を行い、困難に立ち向かう勇気やチャレンジする心を育成するとともに、仲間で協力する態度を養う。(年間4回シリーズ)	小学5・6年生と中 学生 4回継続 ①58/56 ②55/62 ③50/62 ④51/62 87.8%	①5/25～26 1泊2日 ②7/23～8/1 9泊10日 ③10/12～14 2泊3日 ④12/13～15 2泊3日
諫早	いさはや サマープロジェクト (新規)	人・社会・自然との関わりが苦手な今日の子どもたちに、日常生活とは異なる環境下においてのワイルドな自然体験や冒険プログラム体験をとおり、自己を見つめなおし、新たな自分を創造していく一助とする。	小学5・6年生 20/20 100%	7/21～8/4 14泊15日
大隅	われは海の子 ～錦江湾ぐるり一周 ゴムボートの旅～ (継続)	異年齢集団で錦江湾を一周するアドベンチャー活動に挑むことにより、体力・気力づくりをしながら協調性を養うとともに、海の生物や環境・史蹟調査を行い、環境問題への関心を深める。	小学5年生～高 校生 36/36 98.0%	7/13～14 1泊2日 8/2～9 7泊8日
☆ 不登校等児童・生徒」対応				
日高	ふれあい交流キャンプ (新規)	自然体験で、学年、学校の枠を超えて交流し、社会性や協調性、忍耐力等豊かな感性と生きる力を育成する。(全道フリースクール等ネットワークとの連携事業)	フリースクール、 適応指導教室等 に通う児童生徒 26/40 90.0%	①9/21～23 ②1/7～9 各3泊4日

花山	悩みを抱える青少年を対象とした体験活動推進事業 どきどき・わくわく・いきいきキャンプ (継続)	長期にわたる自然体験活動に取り組むことによって、心の悩みを解決し、生き生きとした日常生活を送れるように支援する。	不登校の児童・生徒 夏 4/18 冬 5/18 (未実施)	①7/24～8/6 13泊14日 ②12/21～27 6泊7日
	アドベンチャースクール (継続)	自然の中での宿泊合宿をとおして仲間作りの楽しさを体験しながら、自己を見つめ、新たな可能性を見いだす機会とする。	不登校の児童・生徒 22/30 (未実施)	10/30～11/1 2泊3日
妙高	不登校児童生徒体験活動推進事業 「はつらつ体験塾」 (継続)	新潟県教育委員会と連携し、自然体験・共同宿泊体験を通して、仲間との触れ合いを体感させ、心理的安定ができる雰囲気づくりに努めるとともに、不登校児童・生徒やその保護者との面談を通して不安や悩みの回復を図る。	不登校・不登校傾向の児童・生徒及びその保護者 ①41/30 96.4% ②33/30 87.5%	①10/5～6 1泊2日 ②11/7～10 2泊3日
	悩みを抱える青少年を対象とした体験活動推進事業 「オープン・ザ・ドア」 (継続)	長期にわたる生活体験・冒険活動に取り組ませるとともに、マウンテンバイク等で日本縦断という圧倒的な達成感を与えることによって自己の生活を振り返らせ、社会性や自信の回復、自立心等を育てる。	悩みを抱える中学生 ①12/15 ②8/15 ③7/15 100%	①9/1～20 19泊20日 ②10/12～13 1泊2日 ③11/11～13 2泊3日
若狭湾	大自然はみんなの友達 春 「含 学校適応支援事業」 企画会議 (継続)	自然の中で力を合わせる喜びを体感しながら自分自身を再発見する。カウンセラーとの相談及び参加者が自らを見つめなおす機会を提供。	不登校傾向の児童生徒、保護者、学校関係者 21/30 100%	6/22～23 1泊2日
	大自然はみんなの友達 秋 (継続)	自然の中で力を合わせる喜びを体感しながら自分自身を再発見する。カウンセラーとの相談及び参加者が自らを見つめなおす機会を提供。	不登校傾向の児童・生徒、保護者、学校関係者 10/30 100%	9/14～15 1泊2日
吉備	悩みを抱える小・中学生の体験活動事業 (新規)	悩みを抱える子どもたちが、様々な自然体験活動を通して生きる力を育むための事業を行うとともに、少年自然の家が取り組むべき現代的課題について実践的な調査研究を行うための試行的な事業とする。	悩みを抱える小学生及び中学生 28/20 100%	12/6～3/7 (10回)
	悩みを抱える青少年の体験活動推進事業 とびだせ一人ぼっち (新規)	児童生徒とその保護者が悩みを語り合ったり、自然や多くの人々と交流したりすることを通して、悩みを解決していく一助とする。また、家庭や地域、指導者等が、悩みを抱える青少年に対するそれぞれの役割について考える。また、特性を生かしたプログラムの研究・開発を行う。	不登校・保健室登校)、ひきこもりの小・中学生・保護者、養護学校等の一人では思い切った活動が不自由な小・中学生、保護者 ①21/40 100% ②76/40 92.6%	①12/21～23 ②2/21～23 各2泊3日
山口徳地	心のふれあい体験キャンプ (継続)	恵まれた自然環境の中で、臨床心理や野外活動専門家の支援のもと、親子が伸び伸びと活動することを通じ、心の教育プログラムの開発を推進する。	不登校児童生徒、保健室登校児童生徒、その保護者及び教育関係者 20/30 98.2%	2/8～9 1泊2日
☆ 総合的な学習の時間」対応				
那須甲子	なすかし「森の学校」 (継続)	自然の家を教室に、各種自然体験や生活体験・社会体験等を行い、少年自然の家における「総合的な学習の時間」のモデル事業の開発を行う。	栃木県 那須町立那須中学校 1年生 55/55 96.3%	7/1～5 4泊5日

信州 高遠	自然の中で環境スクール -総合的な学習の時間実践事業- 《1回》 継続)	自然の家に移動し、環境教育を中心とした総合的な学習の時間」を実施する。児童・生徒それぞれが、自らの興味関心に基づいて、自然の営みについて観察・調査・発表し、自然と人間のかかわりについて理解を深めるとともに、問題解決や探求活動に主体的・創造的に取り組む態度を養い、自己の生き方を考える機会とする。	小学校又は中学校 126/126 子ども 100% 大人 88.2%	7/18～19 1泊2日
妙高	自然の中で 総合」 ～授業実践編～ 継続)	本少年自然の家において、学校の職員と本施設の専門職員がチームティーチングで総合的な学習の時間の授業を実践し、プログラムの改善・充実を図る。	小学校 5校/5校 延べ 1,500人参加	通年
曾爾	自然の中で総合学習 継続)	環境教育の土台・出発点である「自然に親しむ」ことに重点を置き、総合的な学習の時間(環境教育)における学社融合事業として実施する。	小学5年生 128/100 90.8%	10/16～18 2泊3日
吉備	学者融合推進事業 “とび出せ学校！いき いきスクール” 継続)	小学校の1学年全員が少年自然の家に移動し、各学校のテーマに沿って子供達が主体となった自然体験活動などを行う。この事業を通して少年自然の家における「総合的な学習の時間」の展開方法の在り方、長期利用について研究開発を行う。	小学校 ①9/9 100% ①11/11 100% ②83/83 98.8% ③29/27 100% ④13/13 100%	①10/7～11 ②10/14～18 ③10/28～11/1 ④11/5～9 各4泊5日
山口 徳地	佐波川ウォッチング 新規)	佐波川流域を活用した自然環境に関わる「総合的な学習の時間」のプログラムを開発する。	小・中学生 22/20 100%	7/6～7/7 1泊2日
夜須 高原	夜須高原 "遊学キャンプ" 継続)	長期間、家庭を離れ自立心や社会性を養うとともに、総合的な学習を行い学校の学習につなげる。	小学5年～中学3年 ①65/50 ②49/65 98.2%	①8/2～10 8泊9日 ②11/8～10 2泊3日
諫早	学社融合「総合的な学習 の時間」共同開発事業 新規)	少年自然の家を利用した「総合的な学習の時間」における展開について、施設と学校が共同で研究開発し、その成果を広く普及する。	島原市立第二中 教師5名 生徒110名 湯江小学校 教師3名 児童77名 (未実施)	指導者研修 7/25・26 2日間 宿泊学習 9/30～10/2 2泊3日 日帰り10/11
☆ 障害児(者)教育・ノーマライゼーション等」対応				
那須 甲子	ふれあい雪ん子 親子ミーティング 継続)	小中学生の子どもたち及び障害のある子どもたちとその家族に、冬の自然とふれあう機会を提供するとともに、活動を通して交流を深める。	小中学生とその家族、 障害のある小中学生とその家族 226/120 100%	1/11～13 2泊3日
信州 高遠	みんな友だち ー土と人ー 継続)	協力をしながら、農作業・ハイキング・創作活動などを通して、豊かな心を育てる。また、相互の立場を理解し合い、ともに生きる心を育む機会とする。	心身に障害のある 児童生徒とその家族 ・児童生徒とその家族 42/30 100%	6/8～9 1泊2日 9/28～29 1泊2日
曾爾	みんなでリフレッシュ！ 継続)	子どもたちの自尊感情を高める野外活動を実施。保護者ひは、カウンセリング等を通して、子供達との関わり方を学ぶ。みんながともにリフレッシュし、明日への意欲を高める。	ADHDまたはLDの 児童・家族、指導者等 4家族/8家族 100%	10/12～14 2泊3日

夜須高原	夜須高原 “いきいき”キャンプ 継続)	野外での活動に接する機会の少ない児童・生徒に、学校や家庭とは異なった環境において、豊かな体験活動の機会や学びの場を提供し、生きる力を育む。 年間4回シリーズ)	障害のある児童・生徒とその家族 ☆継続4回 ①43/40②53/40 ③44/40④46/40 100%	①6/8～9 1泊2日 ②8/20～24 4泊5日 ③10/12～14 2泊3日 ④12/21～23 2泊3日
大隅	チャレンジ・ザ・キャンプ 新規)	下肢に障害のある児童・生徒に野外活動やキャンプ体験をさせ、野外活動の楽しさを体験するとともに活動範囲を広げる。	下肢に障害のある児童・生徒 15/20 100%	9/14～16 2泊3日
☆ 環境教育」対応				
日高	森の少年保安官 継続)	隣接する豊かな国有林を活用した森での林業体験活動を通して、森林の働きと自然環境の豊かな恵みを肌で感じさせるとともに、自然環境保護の精神を育てる。 (日高北部森林管理署との連携事業)	中学生、高校生 60/60 93.1%	7/18～7/19 1泊2日
吉備	吉備自然探検隊 “カワセ ミクラブ” 継続)	吉備高原の自然環境の調査や観察を通して、自然への探求心や感性を高め、環境保全への主体的・創造的な態度を養うとともに、当所総合的な学習の時間に対応した環境学習の教材開発を行う	小学校4年～6年 ①44/40 97.0% ②48/40 100%	7/6～7 2/8～9 各1泊2日
室戸	日本版 Water Wise I 継続)	「海」の自然体験活動を通して、海に親しみ海からの恩恵を学び、海について理解を深め、海についての環境問題を考えるとともに海での基本的な安全知識(危険回避)を身につける。	小・中学校 147/147 89.9%	10/2～18 2泊3日～ 3泊4日
	国際ビーチクリーンアップ in 室戸 継続)	世界一斉の「海岸クリーンアップ」を室戸でも開催し、室戸の海岸漂着物の現状を調査し、環境教育の必要性を理解する。	家族・グループ 39/40 100%	9/28～29 1泊2日
諫早	我ら環境ボランティア ～ヤマネの森を守る～ 新規)	自然環境保護のためのボランティア活動を通して、少年期から積極的に社会参加していく態度を養う機会とするとともに、施設の特徴を生かした少年による奉仕活動を支援するプログラムの普及を図る。	小学4～6年生 31/30 93.1%	10/12～13 1泊2日
☆ 国際理解 国際交流」対応				
日高	地球ファミリー大集合 継続)	日本の伝統芸能を鑑賞や祭りの体験などを通して、日本の文化への理解を深めるとともに、参加者同士の国際交流を図る。 (北海道大学との連携事業)	外国人の子どもと の家族 172/150 85.7%	7/13～14 1泊2日
若狭湾	エンジョイ イングリッシュ in トビー! 新規)	英語に親しみ外国の文化・習慣の理解とともに、外国の人との交流を通して相互理解を深める。豊かな国際感覚を身につける。	小学5・6年生 37/40 83.0%	10/19～20 1泊2日
山口徳地	わんぱく国際交流 in 徳地 新規)	世界各国の子どもや家族がつどい、参加者同士の異なる文化や生活の相互理解を深めながら国際交流を図る。	小・中学生及びその 家族、外国人 及び家族・留学生 43/50 90.4%	12/21～23 2泊3日
☆ 科学教育」対応				

立山	宇宙の神秘 「スペースクラブ 童夢 2002」 新規)	①②④)星座観察、天体写真撮影、月や太陽・惑星の観察等、年間で実施。また、宇宙に関する継続した学習機会を提供することで、科学離れしがちな子供達に、宇宙や自然に対する興味・関心を培うとともに科学する心を育てる。	小学校 5年生～ 中学校 3年生 30/30 96.7%	① 4/27～29 2泊3日 ② 7/26～8/1 6泊7日 ③ 10/1～14 2泊3日 ④ 3/1～3/2 1泊2日
		③)天体観察から宇宙に目を向け、宇宙科学研究所鹿児島宇宙空間観測所等の見学・実習と天体観察を行う。宇宙に関する継続した学習機会の提供で、宇宙に対する興味と意欲をもたせる。		
室戸	子ども自然科学教室 継続)	室戸岬周辺の動・植物観察等の自然体験を通し、自然への理解や関心を深め自然保護の心を培う。	小学校高学年・中学生 49/40 100%	11/9～10 1泊2日
	親子自然科学教室 継続)	屋外での身近な自然の観察や生活用品を用いた簡単な実験などを行い、自然科学に対する興味・関心を育てる。	小学校低中学年とその家族 42/40 97.1%	1/25～26 1泊2日
大隅	親子科学教室 継続)	親子で科学に関する学習をする中で、科学することへの興味関心を深めながら、親子の絆を深めたり参加者相互の交流を図ったりする。	小学生(1～4年)とその保護者 68/50 100%	6/8～9 1泊2日
☆ 異文化交流」対応				
日高	日本列島ともだちの輪 in 室戸(高知県)～ 日高(北海道) 継続)	異なる地域の子どもたちが相互に訪れ交流し、生活様式や自然環境などの違いを体験するとともに、友だちの輪を広げ自分の故郷を見直す機会とする。 (室戸、大隅各国立少年自然の家との連携事業)	小学 5年～中学 1年生 40/40 90.0%	8/7～12 5泊6日 12/26～29 3泊4日
室戸	日本列島ともだちの輪 in 日高～室戸 (継続)	異なる地域の子どもたちが相互交流し、友だちの輪を広げ、自分の故郷を見直す機会とする。併せて、国立少年自然の家同士の連携を図り、新しいプログラムを開発する。 (日高、大隅各国立少年自然の家との連携事業)	小学校高学年・中学 1年生 ① 38/40 99.0% ② 37/40 99.0%	8/8～12 4泊5日 12/26～29 3泊4日
大隅	日本列島ともだちの輪 in 日高 継続)	異なる地域の子どもたちが相互に訪れ交流し、友だちの輪を広げ、自分の故郷を見直す機会とする。併せて、国立少年自然の家同士の連携を図り、新しいプログラムを開発する。 (日高、室戸各国立少年自然の家との連携事業)	小学 5年生～中学 1年生 40/40 100%	12/7～8 1泊2日 12/25～29 4泊5日
☆ 奉仕体験・奉仕活動」対応				
花山	中学生ボランティア学習講座 新規)	青少年教育施設におけるボランティア活動に参加しながら、人や自然との関わりの中でボランティア活動への意欲を高めながら、問題解決能力を養う。	中学生 18/30 94.4%	11/23～24 1泊2日

ウ 公立少年自然の家等のモデルとしての先導的な主催事業の実施

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
日高	プロジェクト・兄弟姉妹 (継続)	当所を利用する小中学校が学年、学校の枠を超えた異年齢集団のグループを形成し、交流活動を行うことにより、主体性や社会性など「生きる力」の育成を図る。南富良野町立幾寅中学校、当麻町立伊香保小学校との連携事業)	当所利用の小学生、中学生 27/27 92.0%	7/15～17 2泊3日
花山	学校移動事業 (新規)	全学年又は一部の学年が自然の家に宿泊し、自然体験をしつつ、通常の授業を受ける。また、他学校との交流も行う。	花山小学校 1, 2年生 16名 花山中学校 2年生 20名 (未実施)	3/7 3/9
妙高	はつらつジュニアリーダー研修会 (継続)	プロジェクトアドベンチャー、リーダーサミット、意見交換、集団宿泊活動等を通して、仲間との交流及びリーダーとしての資質を高め、学校生活・学校外生活でリーダーシップを発揮できるようにする。	中学生 36/36 100%	8/23～24 1泊2日
立山	真冬のチャレンジ・キャンプ (継続)	立山山麓の厳冬の中でのキャンプ生活体験やかんじき登山などの雪上活動を通して自ら心と体を鍛えるとともに、参加者相互の交流を深める。	小学5年～中学3年生 34/30 97.0%	1/11～13 2泊3日
若狭湾	チャレンジ！ トビーの海にこぎ出そう！ (新規)	若狭湾でのシュノーケリングやシーカヤックに挑戦し、アクアスポーツの楽しさを体感する。また、近隣の公立海浜施設との連携を図る。	小学5年生～中学生 20/20 100%	7/20～24 4泊5日
曽爾	自然エコ探検クラブ (継続)	曽爾の恵まれた自然環境の中で、体験活動や探求活動を行ない、環境についての意識を高め、より良い環境を創造しようとする態度を身につける。	小学4～6年生 40/40 100%	7/20～22 2泊3日
	夢冒険真夏にチャレンジ (継続)	今まで経験したことのない冒険的な体験に立ち向かうことにより、自らの可能性を発見するとともに、相互に助け合い、感謝する心、達成する喜びを学ぶ。	小学5・6年生及び中学生 30/30 100%	8/5～11 6泊7日
	夢冒険 真冬にとびこめ！ (再掲) (新規)	冬のきびしい自然環境の中で、大自然のすばらしさを体感し、心身ともたくましい子どもを育成する。	小学5・6年生及び中学生 30/30 100%	1/11～13 2泊3日
山口徳地	ふれあいyou and me サークル サマーキャンプ (継続)	地域の異年齢の子どもたちに様々な体験活動をさせることにより、心豊かな青少年の育成を図る。	町内の小学4年～中学3年 64/40 98.5%	7/27～29 2泊3日
室戸	日本版Water Wise II ①②③ (継続)	①各種マリンスポーツを選択し、友達・家族の交流を通して海の安全・夢・冒険心を育む。 ②世界一斉「海岸クリーンアップ」を開催し、海岸漂着物の現状を調査、環境教育の必要性を理解する。 ③様々な水辺活動を通し、施設職員の水辺活動指導の資質向上を図る。	小学校高学年・中学生 ①17/40 100% ②35/40 100% ③35/40 100%	①4/13～14 ②5/25～26 ③6/22～23 各1泊2日

夜須高原	夜須高原 トム・ソーヤー塾 継続)	日常生活では体験できない冒険的な活動を行い、困難に立ち向かう勇気やチャレンジする心を育成するとともに、仲間で協力する態度を養う。(年間4回シリーズ)	小学5・6年生と中学生 4回継続 ①58/56 ②55/62 ③50/62 ④51/62 87.8%	①5/25～26 1泊2日 ②7/23～8/1 9泊10日 ③10/12～14 2泊3日 ④12/13～15 2泊3日
	夜須高原 “いきいき”キャンプ 継続)	野外での活動に接する機会の少ない児童・生徒に、学校や家庭とは異なった環境において、豊かな体験活動の機会や学びの場を提供し、生きる力を育む。 (年間4回シリーズ)	障害のある児童・生徒とその家族 ☆継続4回 ①43/40②53/40 ③44/40④46/40 100%	①6/8～9 1泊2日 ②8/20～24 4泊5日 ③10/12～14 2泊3日 ④12/21～23 2泊3日
	夜須高原 “遊学キャンプ” 継続)	長期間、家庭を離れ自立心や社会性を養うとともに、総合的な学習を行い学校の学習につなげる。	小学5年～中学3年 ①65/50 ②49/65 98.2%	①8/2～10 8泊9日 ②11/8～10 2泊3日
大隅	夏だ！海にチャレンジ 新規)	自然豊かな錦江湾で、ゴムボートやカヌー等の様々な海での活動やキャンプ活動等の多様な自然体験を通して、海浜活動の基本的な知識や技能の習得を図り、更に心身のリフレッシュを図るとともに、協力助け合いの心を培う機会とする。	小学4年生～中学生 48/50 100%	8/18～20 2泊3日
	わんぱくキッズ大集合 新規)	当所のふれあい広場を中心に、高齢者を招待して伝承遊びや昔を振り返る話を聞いたりして、高齢者とのふれあいを図るとともに、いろいろな野外活動を通して参加者同士の交流を図る。	小学4年生～中学生 35/30 100%	11/2～4 2泊3日

エ 各施設の教育活動を積極的に外部に発信できる「重点事業」の実施

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
日高	ふれあい交流キャンプ 再掲) 新規)	フリースクールや適応指導教室等の不登校傾向にある児童生徒が、自然体験活動を行う中で、学年、学校の枠を超えて交流し、社会性や協調性、忍耐力など豊かな感性と生きる力を育成する。 (全道フリースクール等ネットワークとの連携事業)	フリースクール、適応指導教室等に通う児童生徒 26/40 90.0%	①9/21～23 ②1/7～9 各2泊3日
	少年環境調査隊 新規)	施設周辺の自然環境の中で、自然体験活動や環境学習を行い、自然や環境に関する関心を高め、より理解し、自ら実践していく態度や能力を育成する学社融合事業。 (日高町立日高小学校との連携事業)	日高小学校 3～6年 71/71 97.2%	6月～11月 計78時間
花山	宮城県発信！ 教育改革と体験学習法全国ミーティング ～生きる力を育む冒険教育&体験学習法～ 新規)	様々な体験学習法展開の諸問題について、ワークショップ形式で研究協議と討議を行う。宮城県教育委員会での取り組み状況を発表する。学校教育と野外教育関係者による情報交換をとおし、教育活動の展開に役立てる。	全国の教員及び体験学習法に興味・関心がある者 151/200 100%	10/18～20 2泊3日
那須甲子	なすかし“森の学校” 再掲) 継続)	自然の家を教室に、各種自然体験や生活体験・社会体験等を行い、少年自然の家における「総合的な学習の時間」のモデル事業の	那須中学校1年 55/55 96.3%	7/1～5 4泊5日

		開発を行う		
信州 高遠	みんな友だち ー土と人ー (再掲) (継続)	心身に障害のある子どもをもつ家族と普通の家族とが、土とふれあう楽しさ、自然の中で汗を流す心地よさやものをつくる喜びを味わい、豊かな心を育てる。また、相互の立場を理解し合い、ともに生きる心を育む機会とする。	心身に障害のある 児童生徒とその家 族・児童生徒とそ の家族 42/30 100%	①6/8～9 ②9/28～29 各1泊2日
	自然の中で環境スー ー総合的な学習の時間 実践事業ー《1回目》 (再掲) (継続)	小・中学校の1学年全員が少年自然の家に移動し、環境教育を中心とした総合的な学習の時間」を実施する。子供達が、自らの興味関心に基づいて、自然の営みについて観察・調査・発表し、自然と人間のかかわりについて理解を深めるとともに、問題解決や探求活動に主体的・創造的に取り組む態度を養い、自己の生き方を考える機会とする。	小・中学校 126/126 子ども 100% 大人 88.2%	7/18～19 1泊2日
	自然の中で環境スー ー総合的な学習の時間 実践事業ー《2回目》 (継続)		小学校又は中学 校 37/37 (未実施)	11/5～6 1泊2日
	長期野外生活体験 -仲間とつくる10泊11日- (再掲) (新規)	自然とともに生きるのに必要な生活の知恵・生きる力を、農作業体験や道具作り、食料保存や料理、野外伝承遊び等の具体的な体験を通して習得するための長期野外生活体験を行う	小学校5年生～ 中学生 49/42 89.7%	8/1～11 10泊11日
妙高	悩みを抱える青少年を対象 とした体験活動推進事業 「オープン・ザ・ドア！」 (再掲) (継続)	悩みを抱える中学生に長期にわたる生活体験・冒険活動に取り組ませるとともに、マウンテンバイク等で日本縦断という圧倒的な達成感を与えることによって自己の生活を振り返らせ、社会性や自信の回復、自立心等を育てる。	悩みを抱える中学 生 ①12/15 ②8/15 ③7/15 100%	①9/1～20 19泊20日 ②10/12～13 1泊2日 ③1/11～13 2泊3日
立山	真夏のチャレンジ 立山&富山湾 (再掲) (新規)	立山連峰と富山湾を結ぶ標高差3000mの自然を舞台にした共同体験を通して、自ら心や体を鍛えるとともに、参加者相互の交流を深める。	小学5年～中学3 年 29/30 92.9%	8/4～12 8泊9日
	宇宙の神秘 「スペースクラブ 童夢2002」 (再掲) (新規)	①③④)星座観察、天体写真撮影、月や太陽・惑星の観察などを年間を通して行う。また、宇宙に関する継続した学習機会を提供することで、科学離れしがちな子供たちに、宇宙や自然に対する興味・関心を培うとともに科学する心を育てる。 ②)天体観察から宇宙そのものに目を向け、国立大隅少年自然の家を拠点に宇宙科学研究所鹿児島宇宙空間観測所等の見学・実習と天体観察を行う。宇宙に関する継続した学習機会を提供することで、宇宙に対してより深い興味と意欲をもたせる。	小学校5年～中 学3年 30/30 96.7%	①4/27～29 2泊3日 ②7/26～8/1 6泊7日 ③10/12～14 2泊3日 ④3/1～2 1泊2日
若狭 湾	チャレンジ！トビーの海に こぎ出そう！ (再掲) (新規)	若狭湾でのシュノーケリングやシーカヤックに挑戦しアクアスポーツの楽しさを体感する。また、近隣の公立海浜施設との連携を図る。	小学5年～中学 生 20/20 100%	7/20～24 4泊5日
	地域・人・自然から学ぶ ～若狭ふれあいの旅～ (再掲) (継続)	長期自然体験をととして地域の自然や文化に触れ、海との関わりについて総合的に学習する。また、参加者相互の交流と協力する事の大切さ、すばらしさを体感する。	小学5年～中学 生 21/20 100%	7/28～8/6 9泊10日
曾爾	夢冒険真夏にチャレンジ (再掲) (継続)	今まで経験したことのない冒険的な体験に立ち向かうことにより、自らの可能性を発見するとともに、互いに助け合う心や感謝する心、達成する喜び等を学ぶ。	小学5・6年生及 び中学生 30/30 100%	8/5～11 6泊7日

	みんなでリフレッシュ！ 再掲) 継続)	子どもたちの自尊感情を高める野外活動を行なう。保護者等は、指導やカウンセリングなどを通して、子どもたちとの関わり方を学ぶ。そして、みんながともにリフレッシュし、明日への意欲を高める。	ADHD、LDの児童、家族、指導者等 4家族 12/ 8家族 30 100%	10/12～14 2泊3日
吉備	吉備自然探険隊 “カワセミクラブ” 再掲) 継続)	吉備高原の自然環境の調査や観察を通して、自然に対する探求心や感性を高め、環境保全に対する主体的・創造的な態度を養うとともに、少年自然の家における総合的な学習の時間に対応した環境学習の教材開発を行う。	小学校 4年生～6年生 ①44/40 97.0% ②48/40 100%	①7/6～7 ②2/8～9 各1泊2日
	学社融合 “とび出せ学校！いきいきスクール” 再掲) 継続)	小学校の1学年全員が少年自然の家に移動し、各学校のテーマに沿って子どもたちが主体となった自然体験活動などを行う。 この事業を通して少年自然の家における『総合的な学習の時間』の内容と展開方法の在り方及び長期利用について研究開発を行う。	小学校 ①9/9 100% ①11/11 100% ②83/83 98.8% ③29/27 100% ④13/13 100%	①10/7～11 ②10/14～18 ③10/28～11/1 ④11/5～9 各4泊5日
山口 徳地	野性の夏 2002 再掲) 継続)	10日間にわたり自然の中で野外活動を楽しみながら、自然への関心を深めるとともに体を鍛える。また、プロジェクトアドベンチャー教育プログラム等により参加者相互の心の交流を図る。	小・中学生 30/30 93.1%	8/18～8/27 9泊10日
	プロジェクトアドベンチャー指導者講習会 継続)	プロジェクトアドベンチャー (PA)を活用した教育を推進していくため、PAの基礎知識と教育的手法の研修を行い、指導者の育成を図る。 (株)プロジェクトアドベンチャー・ジャパン	小・中学校教員 少年指導者等 ①45/30 97.0% ②43/30 93.0%	①6/21～23 ②10/12～14 各2泊3日
	プロジェクトアドベンチャースキルアップ講習会 新規)	プロジェクトアドベンチャー指導者講習会で資格取得した指導者が応用的な技術と教育的手法の研修を行い、より専門性の高い技能習得を図る。 (株)プロジェクトアドベンチャー・ジャパン	PA指導者講習会 資格認定者 29/30 66.6%	11/15～17 2泊3日
室戸	わんぱくこども宿 再掲) 継続)	大自然の中でのキャンプで様々な自然体験などに挑戦する中で、助け合いの心や困難に打ち克つ精神力を育み、心豊かな少年の育成を図る。	小学校高学年・中学生 36/30 91.4%	8/14～8/24 10泊11日
	日本版 WaterWise I 再掲) 継続)	「海」の自然体験活動を通して、海に親しみ、海について理解を深め、海についての環境問題を考えるとともに海での基本的な安全知識(危険回避)を身につける。	小・中学校 147/147 89.9%	10/2～10/18 2泊3日～ 3泊4日
	日本版 WaterWise II ①②③ 再掲) 継続)	①日本一斉の「海岸クリーンアップ」を室戸でも開催し、海岸漂着物の現状を調査し環境教育の必要性を理解する。 ②海水を採集してプランクトンなど海の生物を観察するとともに、潮流の観測を行い、海についての関心や理解を高める。 ③オーシャンカヤック・ヨット・シュノーケリング等の海洋活動を通して、海との安全な接し方を学び、海への夢や冒険心を育む。	小学校高学年・中学生 ①17/40 100% ②35/40 100% ③35/40 100%	①4/13～14 ②5/25～26 ③6/22～23 各1泊2日
夜須 高原	夜須高原 “いきいき”キャンプ 再掲) 継続)	野外での活動に接する機会の少ない障害のある児童・生徒に学校や家庭とは異なった環境において、豊かな体験活動の機会や学びの場を提供し、生きる力を育む。年間4回シリーズ)	障害のある児童・生徒とその家族 ①43/40 100% ②53/40 100% ③44/40 100% ④46/40 100%	①6/8～9 1泊2日 ②8/20～24 4泊5日 ③10/12～14 2泊3日 ④12/21～23 2泊3日

諫早	いさはや サマープロジェクト (再掲) 新規)	人・社会・自然との関わりが苦手な今日の子どもたちに、日常生活とは異なる環境下においてのワイルドな自然体験や冒険プログラム体験で、自己を見つめなおし、新たな自分を創造していく。	小学5・6年生 20/20 100%	7/21～8/4 14泊15日
	親塾 (再掲) 新規)	家庭の教育力低下がさげられる今日、野外での体験活動プログラムを提供し、その体験プロセスに焦点をあてることで、親の役割や家族の大切さに気づき、家族の絆を深める機会とする。	小中学生を含む家族 26/10 94.4%	5/11～12 1泊2日
	学社融合 総合的な学習の時間」共同開発事業 (再掲) 新規)	少年自然の家を利用した「総合的な学習の時間」における展開について、施設と学校が共同で研究開発し、その成果を広く普及する。	島原市立第二中 教師5名 生徒110名 湯江小 教師3名 児童77名 (未実施)	指導者研修 7/25・26 2日間 宿泊学習 9/30～10/2 2泊3日 日帰り10/11
大隅	夏だ！海にチャレンジ (再掲) 新規)	自然豊かな錦江湾で、ゴムボートやカヌー等の様々な海での活動やキャンプ活動等の多様な自然体験を通して、海浜活動の基本的な知識や技能の習得を図り、更に心身のリフレッシュを図るとともに、協力助け合いの心を培う機会とする。	小学4年生～中学生 48/50 100%	8/18～20 2泊3日
	チャレンジ・ザ・キャンプ (再掲) 新規)	下肢に障害のある児童・生徒に野外活動やキャンプ体験をさせることにより、野外活動の楽しさを体験するとともに活動範囲を広げる。	下肢に障害のある児童・生徒 15/20 100%	9/14～16 2泊3日

オ 自然体験活動の教育効果を立証する主催事業の実施

	事業名	教育効果のテーマ	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
日高	日高山脈冒険隊 (再掲) 継続)	自然への畏敬の念、自主性や忍耐力の育成	小学5年～中学3年 30/30 100%	7/30～8/6 7泊8日
	ふれあい交流キャンプ (再掲) 新規)	不登校傾向のある児童・生徒に対して社会性や忍耐力等の育成	フリースクール、適応指導教室等に通う児童生徒 26/40 90.0%	①9/21～23 ②1/7～9 各2泊3日
花山	花山自然探検隊 ①「春」はなやまの春探し ②「夏」沢登りに挑戦 ③「秋」花山の宝探し ④「冬」冬山ウォッチング (再掲) 継続)	ネイチャーアクティブゾーンとして自然観察・調査の検証	小学3年～中学3年 ①23/30 100% ②45/30 100% ③44/30 97.7% ④39/30 94.9%	①4/26～28 2泊3日 ②5/10～12 2泊3日 ③10/26～28 1泊2日 ④2/8～9 1泊2日
那須 甲子	ひとり立ちへの挑戦！ 君がつくる144アワー (再掲) 新規)	小グループのよる自然体験活動を通じて、子どもの自主性・主体性の育成	小学5年生～中学1年生 8/8 100%	8/19～25 6泊7日
	なすかし「森の学校」 (再掲) 継続)	体験的な学習を通じた新たな興味関心や学力意欲の向上	栃木県 那須町立那須中学校1年生 55/55 96.3%	7/1～5 4泊5日

信州 高遠	長期野外生活体験 -仲間とつくる10泊11日- (再掲) 新規)	自然の営みと脅威を認識し、自然環境に適した生活の仕方や知恵の習得	小学校5年生～中学生 49/42 89.7%	8/1～11 10泊11日
妙高	悩みを抱える青少年を対象とした体験活動推進事業 「オープン・ザ・ドア！」 (再掲) 継続)	非行・不登校生徒に対する自己肯定感の育成による生活改善	中学生 (非行・不登校生徒若干名) 12/15 100%	9/1～20 19泊20日 10/12～13 1泊2日 1/11～13 2泊3日
立山	真夏のチャレンジ 立山&富山湾 (再掲) 新規)	大自然を舞台にした共同生活を通して、自己の変容と参加者同士の交流の検証	小学5年～中学3年 29/30 92.9%	8/4～12 8泊9日
	宇宙の神秘 「スペースクラブ 童夢2002」 (再掲) 新規)	宇宙に関する学習機会を提供することによる興味・関心・科学する心の育成	小学5年～中学3年 30/30 96.7%	①4/27～29 2泊3日 ②7/26～8/1 6泊7日 ③10/12～14 2泊3日 ④3/1～3/2 1泊2日
曾爾	自然の中で総合学習 (再掲) 継続)	間伐体験による自然は人に守られていることの理解	小学5年生 128/100 90.8%	10/16～18 2泊3日
吉備	学社融合推進事業 “とび出せ学校！ いきいきスクール” (再掲) 継続)	基本的な生活習慣を身につけ、自主性、耐性、協調性、豊かな心情の育成	小学校 ①9/9 100% ①11/11 100% ②83/83 98.8% ③29/27 100% ④13/13 100%	①10/7～11 ②10/14～18 ③10/28～11/1 ④11/5～9 各4泊5日
	サマーチャレンジin きび “めざせ山の達人！ 海の達人！” (再掲) 継続)	自然への感性やリーダーシップを高め、人間関係としての自己成長	小学校5年生～ 中学校3年生 25/25 100%	8/1～11 10泊11日
山口 徳地	徳地自然探検隊 (継続)	自然の神秘さ・不思議さの気づき・責任感・思いやりの心の育成	小学生 32/30 96.9%	5/18～19 1泊2日
	野生の夏2002 (再掲) 継続)	不便な生活をするることによる成就感、達成感、忍耐力、自主性、協力性、社会性等の育成	小・中学生 30/30 93.1%	8/18～27 9泊10日
室戸	子ども自然科学教室 (再掲) 継続)	自然への理解や関心を深めての理科離れの防止	小学校高学年・中学生 49/40 100%	11/9～10 1泊2日
	わんぱくこども宿 (再掲) 継続)	自然の中での様々な体験活動を通しての子どもの自主性・自立性の育成	小学校高学年・中学生 36/30 91.4%	8/14～8/24 10泊11日
	日本版WaterWwise I (再掲) 継続)		小・中学校 147/147 89.9%	10/2～18 2泊3日～ 3泊4日
夜須 高原	夜須高原 “遊学キャンプ” (再掲) 継続)	自ら体験することによる、認知的・身体的・社会的有能感を育成	小学5年～中学3年 ①65/50 ②49/65 98.2%	①8/2～10 8泊9日 ②11/8～10 2泊3日

	夜須高原 トム・ソーヤー塾 (再掲) (継続)		小学5・6年生と中学生 4回継続 ①58/56 ②55/62 ③50/62 ④51/62 87.8%	①5/25～26 1泊2日 ②7/23～8/1 9泊10日 ③10/12～14 2泊3日 ④12/13～15 2泊3日
大隅	チャレンジ・ザ・キャンプ (再掲) (新規)	自然体験による障害のある児童・生徒の自然への関心、積極性の育成	下肢に障害のある児童・生徒 15/20 100%	9/14～16 2泊3日

カ その他少年の健全育成を図るための事業

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
花山	オリンピック巡回指導 事業 野球 (新規)	日本を代表するオリンピック選手 (オリンピック)を招き、子どもたちへの指導や助言を通じ技術の向上はもとより、子どもたちが夢を持ってスポーツに取り組む意欲を奮起し、オリンピックへの理解を深めるとともに、青少年の心身の健全な育成を図る。共催 法人本3部)	中学生及び指導者 204/180 (未実施)	11/8～9 1泊2日
若狭 湾	オリンピック巡回指導 事業 卓球 (新規)		周辺の卓球クラブチーム、高校生、一般) 225/200 講演会 88.0% 実技指導 96.0%	1/18 1/19
曾爾	オリンピック巡回指導 事業 バレーボール (新規)		461/200 (未実施)	3/1～2 1泊2日
日高	少年サッカーフェスティバル (継続)	道内サッカー少年の宿泊による共同生活や交流試合、サッカー教室を通して、管内を越えたチーム間の交流を深める。(北海道サッカー協会との連携事業)	少年サッカーチーム 702/800 (チーム)23/32 90.0%	9/21～9/22 10/19～20 各1泊2日
吉備	国少旗争奪新春小学生 バレーボール大会 (継続)	小学生がスポーツ活動を実施することにより、スポーツに対する興味・関心及び参加意欲を喚起し、ひいては青少年の健全育成に資するとともに少年団体活動の振興を図る。	小学生とその家族 及び指導者 266/200 (未実施)	1/11～12 1泊2日
山口 徳地	山口徳地スポーツ少年 のつどい :サッカー (継続)	自然に親しみながら、運動の楽しさや喜びを味わい、個人的技能や集団的技能の習得をとおして交流を深め、児童・生徒の健全育成を図る。	サッカー (小中学生) ①158/100 99.0% ②122/100 98.0% ③112/100 100% ④105/100 100%	①6/29～30 ②7/20～21 ③10/19～20 ④12/14～15 各1泊2日
	山口徳地スポーツ少年 のつどい :バレーボール (継続)		バレーボール (中学生) 199/100 100%	1/11～12 1泊2日
	山口徳地スポーツ少年 のつどい :空手道 (継続)		空手道 (小・中学生と保護者、一般) 141/100 89.1%	3/22～23 1泊2日
	山口徳地スポーツ少年 のつどい :ドッジボール (継続)		ドッジボール (小学生) 230/100 95.0%	12/8
室戸	冬に鍛える 三四郎のつどい	四国四県の子どもたちが柔道を通じて交流を深めるとともに、各地域での学校外活動への	小学生とその引率 者 家族	11/23～24 1泊2日

	継続)	参加意欲を一層高める。	208/200 73.7%	
大隅	バドミントン フェスティバル 継続)	バドミントン競技の特徴や初歩的な技能を理解し、上達に必要な練習方法や技術・効果的な練習プログラムを体験することで、競技力の向上を図るとともに、スポーツ振興の一助とする。	小学5年生～ 中学生及び指導者等 54/50 97.2%	1/25～26 1泊2日

キ 体験活動を充実させるための親を対象とした講座の実施

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
那須 甲子	お母さんのための 子ども発見講座」 継続)	那須甲子少年自然の家の施設やフィールドを使い、母親が自然体験活動を行うことで、子どもとの関わり合い方を学ぶ機会とする。	平日の日中に単身 で参加できる母親 ①60/20 100% ②42/20 100% ③42/20 100%	①11/19 ②2/19 ③3/12
	お父さんお母さんの ための自然体験学習講座 (新規)	父親・母親に、いろいろな体験の機会と場を提供することによって、体験学習の促進を図る。	小・中学生をもつ親 45/30 97.2%	6/8～9 1泊2日
曽爾	あったか子育てスクール (新規)	核家族化や近所づきあいの希薄化などにより、子育てに悩む親が増えている。専門家の指導や親同士の話し合いにより、悩み解消の糸口をつかむとともに大自然の中で親子の絆を深める。	子育てに関心のある 家族 6家族20/8家族30 100%	11/30～12/1 1泊2日
諫早	親塾 (新規)	家庭の教育力低下がさげられる今日、野外での体験活動プログラムを提供し、その体験プロセスに焦点をあてることで、親の役割や家族の大切さに気づき、家族の絆を深める機会とする。	小中学生を含む家 族 26/10 94.4%	5/11～12 1泊2日
大隅	楽しいキャンプシリーズ 父親のためのキャンプ講座 (新規)	野外活動の体験が少なく家族キャンプ等をしようとする父親等を対象に、初歩的な野外活動についての知識や技能の習得を図るとともに、野外活動の楽しさを体験する。	父親等 13/30 100%	5/25～26 1泊2日
	楽しいキャンプシリーズ オータムキャンプ 継続)	野外でのキャンプやハイキング等の活動を行う中で、心身のたくましさや豊かな心を養うとともに、親子の絆を深め、参加者相互の交流を図る。	幼児～小学生3年の 家族 35家族/25家族 90.0%	10/26～27 1泊2日

学校週5日制対応事業

	事業名	対象者	実施期間	参加者/対象者
日高	日高路 森の恵みのフェスティバル 新規)	少年とその家族	5/18～19 9/28～29	176/200
	菜才共和国大集合 継続)	小学3年～6年	6/1～2 7/7～8 9/7～8	190/150
	チャレンジスキー教室 継続)	小・中学生とその家族	2/15～16 3/1～2	232/200
	日高山脈ネイチャーセミナー 2002 新規)	小・中学生、地元住民	4/14,5/18,8/7,8/25,10/13,11/2,12/8, 1/26,2/9,3/16 日帰り計 229/200 6/29～30,9/15～16 宿泊計 42/40	
花山	親子でエンジョイ・花山タイム 継続)	小・中学生とその家族 及び湖秋まつり参加者	10/12～13 日帰り計 1200/400 宿泊計 12/50 家族)	
		小・中学生とその家族	2/15～16 宿泊計 53/50 (3家族)	
那須 甲子	なすかしの森ファミリー フェスティバル 継続)	家族、一般	10/13～14 日帰り計 1681 宿泊 483/300	
信州 高遠	子ども自然学習隊ーアルプスの森の秘密ー 継続)	小学4年～中学3年	8/2～25	42/40
	自然の祭典 ー自然を食べよう! 自然からつくろう! 自然と遊ぼう!ー 新規)	小・中学生を含む家族、地元住民	10/12～14	日帰り計 788 宿泊計 173/200
	高遠そりすべり小中学生全国大会 新規)	小・中学生を含む家族	2/8～9	291/200
妙高	妙高の自然に親しむ会」 継続)	親子、一般	4/7,4/29,5/4,5/5,5/18,6/22,7/13, 8/12,9/8,10/13,11/3,12/21,12/23, 1/19,3/2 計 531	
	妙高光と風のフェスティバル 2002 継続)	親子、一般	9/21～22	日帰り計 1019 宿泊計 934
立山	スターウォッチング in 立山 継続)	一般	8月除く 毎月第1第3土曜日	合計 518
	ふれあいファミリー登山 継続)	小・中学生とその家族	5/25～26	51/60
	木々と友だち ネイチャーファミリー 継続)	小・中学生とその家族	6/8～9	76/60
	森の恵みを味わうファミリー・キャンプ 継続)	小・中学生とその家族	9/28～29	55/60
	森のスノーフェスティバル 新規)	小・中学生とその家族	3/8～9	55/100
	みんなおいでよ! 立少フェスティバル 継続)	一般	5/11、5/12	898/300
	えぼし岩 冬のつどい 継続)	芦峯寺地区住民	12/14～15	147/100
若狭 湾	ふれあいキャンプ in トビー 春 継続)	小・中学生を含む家族	4/27～28	64/60
	梅は甘いか酸っぱいか! 梅もぎと梅食品作りに挑戦! 継続)	小・中学生を含む家族 及び小学4年～中学生	6/15～16	89/60
	大漁だ? とれたて、いきいき、秋の海! 継続)	小・中学生を含む家族 及び小学4年～中学	10/5～6	90/80

若狭 湾	祭～夢空間 in トビー～ 新規)	参加者制限なし	10/12～13	627/200
	ふれあいキャンプ in トビー 秋 継続)	小・中学生を含む家族	10/26～27	57/60
	トビーの鳥は友達 継続)	小・中学生を含む家族 及び小学 4年～中学 生	11/2～3	59/60
	おもしろ昔体験～わら細工とおもちつき～ 新規)	小・中学生を含む家族 及び小学 4年～中学 生	12/14～15	46/60
	昔の遊びがいっぱい！～昔の遊び大会～ 新規)	小・中学生を含む家族 及び小学 4年～中学 生	1/11～12	34/60
	トビーボランティアのお兄さん、 お姉さんと遊ぼう！ 新規)	小・中学生を含む家族 及び小学 4年～中学 生	2/8～9	43/60
	味わい 100%！燻製と菌打ちに挑戦!! 継続)	小・中学生を含む家族 及び小学 4年～中学 生	3/8～9	64/60
曾爾	そこにエンジョイ家族Ⅰ 春」の自然を満喫しよう 継続)	小・中学生を含む家族	5/18～19	60/60
	そこにエンジョイ家族Ⅱ 曾爾の山や川で遊ぼう 継続)	小・中学生を含む家族	7/13～14	120/100
	そこにエンジョイ家族Ⅲ文化財とススキ 継続)	小・中学生を含む家族	11/9～10	14/60
	そこにエンジョイ家族Ⅳホワイトin そこ 継続)	小・中学生を含む家族	2/8～9	38/40
	そこにスマイルクラブⅠ 継続)	子どもを含む家族等	6/1,6/22,9/14,10/12,10/26,11/9,11/30, 12/7	計 389
	そこにスマイルクラブⅡ 継続)	子どもを含む家族等	12/22,1/18,2/22,3/22	計 132
	曾爾高原で名月を観る会 継続)	子どもを含む家族等	9/21	270/200
	自然の家オープンデー 継続)	子どもを含む家族等	10/19	166/300
	週末は親子でふれあうきびの森 “もも太郎サンデー” 新規)	小・中学生及び小・中 学生を含む家族	6/15～16 12/7～8	100/50 49/80
吉備	岡山吉備高原車いすふれあい ロードレース大会 継続)	選手、一般参加者	10/12～13	日帰り 250、2500 宿泊 300
	おかげさまで 20年少年自然の家まつり ～チアフルデー～ 継続)	家族、団体及び地域 住民等	11/9～10	日帰り 1523 宿泊 197/200
	第 9 回徳地 MTB 森のフェスタ 継続)	親子、家族、グループ サークル等	11/9～10 3/15～16	522/500 210/300
山口 徳地	第 10 回徳地 MTB 森のフェスタ 継続)	小学生	5/18～19	32/30
	徳地自然探検隊 再掲 継続)	親子、家族、子どもと 引率者	6/15～16	103/100
室戸	自然の家ファミリーウィーク 継続)	家族、グループ	5/3～6	639/600

	海のフェスティバル 継続)		7/20～21	151/100
	室戸くろしお祭り 継続)		10/19～20	日帰り 計 1026 宿泊計 179/300
	野根山街道 トレッキング 新規)		10/12～14	21/40
	親子釣り大会 継続)		10/5～6	53/40
	自然を楽しむ室戸塾 新規)		①12/14～15 ②1/11～12 ③2/8～9 ④3/1～2 ⑤3/25～27	①51/40 ②54/40 ③70/40 ④79/40 ⑤91/40
	春季ファミリー キャンプ in 室戸 新規)	家族・グループ	4/27～29	65/40
	秋季ファミリー キャンプ in 室戸 新規)	家族・グループ	11/2～4	41/40
夜須 高原	ファミリー ウォークデー 継続)	幼児及び小・中学生と その家族、グループ等	10/26	278/200
	かがし祭り 継続)		11/3	547/1000
	夜須高原 フェスティバル 継続)		3/15～3/16	1564/1000
	夜須リンピック 新規)		9/21 10/19 11/16 12/21 1/18 2/15 3/15	41/30 36/30 33/30 93/30 38/30 96/30 115/30
諫早	グリーンアドベンチャー 継続)	児童・生徒、家族、 地域住民	4/27	10 組/10 組 34
	しぜんのいえにあそびにおいでよ 新規)		5/26	97/50
	沢ガニさんと水あそび I・II 継続)		7/6 7/13	111/100 106/100
	ファミリー ウォークデー 新規)		10/26	119/80
	MTBキャンプ 新規)		11/16～17	30/30
	ボランティアによる企画 「冬の自然と友だちになろう」 新規)		12/15	59/50
	お正月をつくろう 新規)		12/26	110/100
	科学のとびら 継続)		1/18～19	105/50
	春の多良岳マンサク登山 新規)		3/1～2	94/50
大隅	おおすみくん家フェスティバル 継続)	子ども、一般成人	11/23～24	961/300
	サタデイ in おおすみくん家 新規)	小学 4年～中学生	4/20,5/16,6/15,9/19,10/17,11/16, 1/18,2/15, 計 438/480	
	楽しいキャンプシリーズ 父親のためのキャンプ講座 再掲 新規)	父親等	5/25～26	13/13

事業プログラムの開発

	開発した内容	実施事業	連携・協力団体等
★学校と連携した事業			
日高	☆自然や環境への関心を高めるためのプログラム開発	少年環境調査隊 新規) 6月～11月 合計78時間) 小学3年～6年対象	・日高町立日高小学校 ・日高北部森林管理署
那須甲子	☆少年自然の家と学校の有機的連携による「総合的な学習の時間」のプログラム開発	なすかし「森の学校」 継続) 7/1～7/5 4泊5日 中学生対象	・那須町立那須中学校1年 ・那須町教育委員会 ・森林総合研究所 ・国際炭焼き協力会
信州高遠	☆自然と人間の関わりを理解を深めるプログラム開発	自然の中で環境スクール 継続) ー総合的な学習の時間実践事業ー 7/18～7/19 1泊2日 養護学校中等部対象	・高遠町教育委員会・ ・長野県諏訪養護学校中等部 ・長野県富士見高等学校園芸科及び農業クラブ
妙高	☆異学校間交流を通して、人間関係能力のプログラム開発	妙高フレンドスクール 「通学キャンプ」 継続) 11/16～11/23 7泊8日 小学6年生対象	・プログラム企画・評価専門部会 ・妙高村教育委員会 ・妙高村立関山小学校 ・妙高村立原通小学校 ・妙高村立大鹿小学校
吉備	☆学校のテーマに沿った「総合的な学習の時間」の在り方のプログラム研究開発	“とび出せ学校！いきいきスクー 継続) ①10/7～11 ②10/14～18 ③10/28～11/1 ④11/5～9 各4泊5日 小学5年生対象	・学社融合推進協議会 ・岡山県高梁市立中井小学校 ・鳥取県川原町立西郷小学校 ・広島県尾道市立山波小学校
諫早	☆少年自然の家と学校との学社融合の「総合的な学習の時間」のプログラム研究開発	学社融合「総合的な学習の時間」 新規) 共同開発事業 指導者研修 7/25・26 2日間 宿泊学習 9/30～10/2 2泊3日 反省・まとめ 10/11 日帰り 小中学校対象	・実行委員会 ・島原市立島原第二中 ・高来町立湯江小
★少年の自主性・社会性を育む事業			
妙高	☆自然体験を通して自立性を育むプログラム開発	妙高キッズ・アドベンチャー 継続) 7/29～8/9 11泊12日 小学5年～中学3年対象	・プログラム企画・評価専門部会
那須甲子	☆地域・人・自然から社会性、自主性を育むプログラム開発	○那須甲子子どもアドベンチャー 継続) 8/1～10 9泊10日 小学5年～中学3年対象	・福島県山岳連盟県南支部 ・白河山岳会
若狭湾		○地域・人・自然から学ぶ～若狭ふれあいの旅～ 継続) 7/28～8/6 9泊10日 小学5年～中学3年対象	・プログラム委員会 ・田島地区漁家
夜須高原		○夜須高原 トム・ソーヤー塾 継続) 5/25～26 1泊2日 7/23～8/1 9泊10日 10/12～14 2泊3日 12/13～15 2泊3日 小学5年～中学3年対象	・大島町立大島中学校 ・篠栗町立篠栗小学校 ・篠栗町立篠栗小学校萩尾分校 ・若宮町立吉川小学校 ・宗像市立南郷小学校 ・玄海町立玄海小学校

諫早		○いさはやサマープロジェクト 新規) 7/21～8/4 14泊15日 小学5・6年対象	・佐賀県勤労者山岳協会 ・国立阿蘇青年の家
信州 高遠	☆心身に障害のある子どもとその家族と児童生徒とその家族との相互理解を図る統合事業としてのプログラム開発	みんな友だち ―土と人― 継続) 6/8～6/9 1泊2日 9/28～9/29 1泊2日 心身に障害のある児童生徒とその家族・児童生徒とその家族	・高遠町教育委員会 ・信州大学農学部 ・信州大学教育学部
曽爾	☆LD(学習障害)、ADHD(多動性、注意欠陥障害)の子ども達の自尊感情を高めるプログラム開発	みんなでリフレッシュ！ 継続) 10/12～14 2泊3日 LD・ADHD児童生徒対象	・奈良市教育委員会 ・東大阪市教育委員会
夜須 高原	☆障害のある子どもの自我関与による「人間関係能力」と「生活能力」のプログラム開発	夜須高原 “いきいき”キャンプ” 継続) ①6/8～9 1泊2日 ②8/20～24 4泊5日 ③10/12～14 2泊3日 ④12/21～23 2泊3日 障害のある児童生徒、家族対象	・福岡県教育庁教育振興部義務教育課、生涯学習課 ・福岡県教育センター ・福岡県立福岡高等学園 ・福岡県立北九州高等学園 ・福岡県立福岡高等聾学校 ・福岡県立古賀養護学校
大隅	☆下肢に障害のある子どもの生活・行動範囲を広げるプログラム開発	チャレンジ・ザ・キャンプ 新規) 9/14～9/16 2泊3日 下肢に障害のある児童生徒対象	・チャレンジ・ザ・キャンプ事業開発委員会 ・鹿児島大学教育学部 ・鹿児島大学水産学部 ・鹿児島養護学校
★不登校等の児童・生徒を対象とした事業			
日高	☆フリースクールや適応指導教室等の不登校傾向にある児童生徒の生きる力を育成するプログラム開発	ふれあい交流キャンプ 新規) 9/21～23 1/7～9 各2泊3日 フリースクールや適応指導教室に通う児童生徒対象	・プログラム実行委員会 ・全道フリースクール等ネットワーク
妙高	☆非行・不登校の中学生に対する自己肯定感の育成による問題行動の改善・解消のプログラム開発	悩みを抱える青少年の体験活動推進事業「オープン・ザ・ドア！」 継続) ①9/1～20 19泊20日 ②10/12～13 1泊2日 ③1/11～13 2泊3日 非行・不登校の中学生対象	・プログラム企画・評価専門部会 ・アウトドア・エデュケーションセンター ・児童相談所、適応指導教室 ・新潟県教育委員会
吉備	☆不登校・ひきこもり等の児童生徒に対する悩みの解消のプログラム開発事業	悩みを抱える青少年の体験活動推進事業「とびだせ一人ぼっち」 新規) 12/21～12/23 2/1～2/3 各2泊3日	・岡山県教育委員会生涯学習課 ・岡山県青少年教育施設
山口 徳地	☆不登校・ひきこもりの児童生徒とその両親に対する心の教育のプログラム開発	☆心のふれあい体験キャンプ 継続) 2/8～2/9 1泊2日 不登校・ひきこもりの児童生徒、保護者、関係者対象	・事業実行委員会
★テーマを定めた実証的研究事業			
那須 甲子	☆子どもの主体性・問題解決能力・自律性育成するプログラム開発	ひとり立ちへの挑戦！ 君がつくる144アワー 新規) 8/19～25 6泊7日 小学5年～中学1年対象	・プログラム実行委員会

立山	☆科学離れの子供たちに科学する心を育成するプログラム開発	宇宙の神秘 「スペースクラブ童夢2002」 4/27～4/29 2泊3日 7/26～8/1 6泊7日 10/12～10/14 2泊3日 3/1～3/2 1泊2日 小学5年～中学3年対象	・鹿児島宇宙空間観測所 ・国立大隅少年自然の家
吉備	☆少年自然の家の環境学習に対応した教材プログラム開発	学習プログラム開発事業 吉備自然探険隊「カワセミクラブ」 継続) 7/6～7 2/8～9 各1泊2日 小学4年～6年	・プログラム開発委員会
室戸	☆海洋理解・安全のプログラム開発	日本版 WaterWiseⅡ①②③ 継続) 4/13～4/14 1泊2日 5/25～5/26 1泊2日 6/22～6/23 1泊2日 小学校高学年～中学生	・クリーンアップ全国事務局 ・日本海洋学会 ・全日本潜水連盟 ・日本マリンスポーツ普及振興会

少年教育指導者の養成・研修事業

(1) 少年団体指導者等を対象とした研修事業

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
日高	利用団体者事前研修会 新規)	施設を利用する学校やその他の利用団体の企画担当者を対象として、効果的な活動プログラムの組み立て方や施設の利用についてプログラム相談を行う。プログラム体験においては、利用頻度の高いアクティビティに関して研修を行う。	利用団体担当者、 青少年指導者 80/80 44 団体) 21/21 10 団体) 94.1%	4月～2月 16 回各 1 日 2 回 1 泊 2 日
	プロジェクトアドベンチャー講習会 新規)	当所に設置された、プロジェクト・アドベンチャー (PA) コースの活用 指導方法等の講習を通して、PA指導者の養成を図る。	学校・社会教育関係 指導者 20/28 95.0%	①4/23～25 ②6/5～7 各 2 泊 3 日
花山	奉仕体験活動等支援者講習会①② 新規)	小・中学校の「総合的な学習の時間」や「奉仕体験活動」で自然の家を利用するための地域の人材育成を目指す。 自然体験活動推進協議会(CONE)認定の初級自然体験指導の資格取得を推進する。	地域及び当所で奉仕体験を希望する 成人・大学生 13/20 100% 42/20 73.3%	①4/15～16 ②3/1～2 各 1 泊 2 日
	プロジェクトワイルド講習会①② 新規)	野生生物と自然資源に対し責任ある行動を促すために、生き物に重点をおいた環境教育プログラムの体験をする。 小・中学校や青少年教育施設での環境教育の気づき、知識、及び実践力を発展させる。	小・中学校教員、施設職員、青少年教育担当者 16/30 100% 22/30 100%	①4/20 ②9/7
那須甲子	体験学習の充実を図るための研究協議会 継続)	「環境学習」「総合的な学習の時間」等の体験学習を展開するに当たり、学校と少年自然の家が研究協議を行うことにより、今後の少年自然の家における体験学習の一層の充実を図る。	関東近辺都県の小・中学校及び養護学校教員等 26/30 100%	1/31～2/1 1 泊 2 日
曾爾	教職員のための野外教育セミナー 継続)	総合的な学習の時間などで、ますます重要視されるようになってきた自然体験。子どもたちに自然体験をさせる意義や方法について研修する。	教員、教育委員会、社会教育団体の指導者等 71/40 75.6%	9/5～6 1 泊 2 日
吉備	少年教育指導者研修事業 『総合的な学習の時間』と体験活動研究協議会 新規)	少年自然の家での「総合的な学習の時間」を普及するため、校長・教頭等を対象とし「体験活動研究協議会」で、学校教育との連携を意図した事業展開を行い、教員の少年自然の家や、体験活動に対する理解を深める。 共催：法人本部)	全国の小中学校長・教頭・教育関係者・青少年教育施設等職員 123/50 88.0%	1/30～31 1 泊 2 日
山口徳地	利用団体指導者研修会 継続)	利用団体指導者を対象に、本少年自然の家の活動プログラムの紹介、効果的な活動プログラムの計画・展開について研修する機会とする。	利用学校及び団体の指導者 32/25 95.0% 21/25 100%	4/26 8/3
夜須高原	利用団体引率者研修 継続)	当所の自然体験活動等を効果的に実施する企画力・指導力を身につけるための研修を行う。	利用団体指導者 72/100 91.4%	5/11～12 1 泊 2 日
	野外教育指導者セミナー 継続)	少年の現代的課題を踏まえ、夜須を拠点とした野外教育の実践的な活動について研究協議し、学社連携・融合を推進する。	教職員・地域の指導者・教育施設職員 59/30 87.0%	10/18～19 1 泊 2 日

	全国少年団体指導者研修 (新規)	PTA会員や少年団体指導者が一同に会し、子供たち（学校、子供会、ボーイスカウト、ガールスカウト等）の活動の現状や今日的課題について協議を深め、少年団体活動の活性化を図る。	PTA会員、少年団体指導者、教員、施設職員等 84/40 80.3%	2/19～21 2泊3日
諫早	教師のための体験学習法ワークショップ (新規)	体験学習法をベースとした野外教育のプログラムデザインをとおして、教育的で質の高い野外宿泊学習を生み出す基礎を学ぶ機会とする。とともに、学校の教育活動に野外教育の新しい手法を普及する。	利用の学校教員 57/30 53/30 96.0%	7/23 7/24
	新任教員のための野外教育入門セミナー (継続)	児童生徒の野外教育を推進するため、野外教育指導に必要な専門的知識と実践的技術など、指導者としての資質向上を図る。	県新規採用教員 (小・中・高) 106/106 96.2%	7/30～8/2 3泊4日
大隅	海浜利用団体指導者研修Ⅰ・Ⅱ (新規)	ボート・カヌー等、ハイキング活動を実施する学校の指導者を対象に、児童・生徒の安全確保の知識と技術を身につける。事前打合せを兼ねる。	海浜活動を実施する学校の職員 15/60 100%	5/14 7/2

(2) 公立施設職員を対象とした研修事業

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
日高	北海道青少年教育施設職員研修会 (継続)	北海道内の国公立青少年教育施設の指導系職員が一堂に会し、青少年教育施設の現状や今日的課題について研究協議を行い、青少年教育施設職員としての資質の向上を図る。 (北海道青年の家等連絡協議会・国立大雪青年の家)	道内青少年教育施設職員 30/30 88.0%	9/25～26 1泊2日
那須 甲子	全国少年自然の家職員等専門研修 (継続)	より魅力ある少年自然の家づくりを目指し、事業運営のあり方・指導法等について研修することにより、指導系職員等の専門性を高める。 (全国少年自然の家連絡協議会)	施設の指導系職員等 17/30 94.1%	10/28～31 3泊4日
信州 高遠	少年自然の家・青少年教育施設職員研修会 (継続)	青少年の学校外活動の充実のため、青少年教育施設の今日的課題について広域的な視点で協議するとともに、少年自然の家等の職員の資質の向上を図る。 (妙高・立山各国立少年自然の家)	自然の家等職員、生涯学習担当者 31/30 88.9%	12/3～5 2泊3日
曾爾	野外教育指導者研修 (継続)	さまざまな立場で野外教育に携わる指導者の資質向上を図る。 (国立若狭湾少年自然の家)	施設職員等、野外教育関係者 21/40 89.5%	11/20～22 2泊3日
吉備	中国・四国地区少年自然の家職員セミナー (継続)	少年自然の家が当面する課題について研究協議を行い、指導者としての資質・能力の向上を図るとともに、施設及び関係機関との連携と交流を深める。 (山口徳地・室戸各国立少年自然の家、中国・四国地区少年自然の家連絡協議会)	中国・四国地区施設職員、少年教育関係者等 29/25 100%	1/22～24 2泊3日
山口 徳地	国立・県立青少年教育施設所長等協議会 (継続)	山口県内の国立・県立青少年教育施設の所長等が出席し、新しい時代に対応した青少年教育施設のあり方について研究協議する。	県内の教育施設の所長 19/15 87.5%	3/13～14 1泊2日
室戸	全国青少年教育施設職員水辺活動セミナー (新規)	様々な水辺活動を通し、教育施設職員における水辺活動指導の資質向上を図る (JEAN クリーンアップ協会、日本キャンプ協会)	青少年教育施設職員 22/25 95.0%	2/15～16 1泊2日

夜須 高原	西日本国立青少年教育施設職員研修 (新規)	国立青少年教育施設の当面する諸問題について研究協議を行い、施設職員としての必要な知識の習得と資質の向上を図るとともに、各施設間の連携、交流を推進する。	国立等青少年教育施設職員等 41/40 96.3%	1/22～24 2泊3日
諫早	九州地区公立少年自然の家職員研修会 (新規)	公立少年自然の家の職員に必要な専門知識や実践的技能的習得を図るとともに、研究協議や情報交換をととして施設職員としての資質向上を図る。 (夜須・大隅各国立少年自然の家、全国少年自然の家連絡協議会九州地区協議会)	九州地区公立少年自然の家職員 55/50 95%	2/12～14 2泊3日
本部	青少年教育施設新任指導系職員研修 (継続)	国公立青少年教育施設の新任指導系職員に必要な知識・技術について研修し、能力の向上を図る。 (国立オリンピック記念青少年総合センター・青年の家本部主催)	国立及び都道府県・指定都市立青少年教育施設の新任指導系職員 48/50 89.0%	6/10～14 4泊5日

(3) ボランティア養成のための研修事業

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
☆入門 養成事業				
日高	ボランティア・セミナー (新規)	国立日高少年自然の家でボランティア活動を行うことを希望する人に対して、ボランティア活動を行うために必要な事項についての研修を行い、青少年にボランティア活動の機会を提供する。	15歳以上の学生・社会人で当所のボランティア登録及び活動を希望する人 34/60 76.9%	①6/15～16 ②10/5～10/6 各1泊2日
	マイプラン・マイボランティア (継続)	昼の産業学習(日高町の人材養成)と夜の高等学校教育を併せて実施する全国でも特色ある教育の地元日高高等学校の生徒の参加によるボランティアリーダー養成事業(日高町教育委員会との連携事業)	産業学習生 (日高高校生) 55/55 94.4%	①11/25 ②11/26 ③2/13 ④2/14
花山	第24期 花山ボランティア・スクール (継続)	ボランティア活動に必要な理論と技術の実践的な研修を行うとともに、子どもの自然体験への指導をととして、指導者の技術を高め、少年教育施設におけるボランティア活動に対する意欲を高める。自然体験活動推進協議会(CONE)認定の初級自然体験指導者の資格を取得する。	大学生・一般成人 24/30 100%	8/21～25 4泊5日
那須 甲子	なすかしの森 ボランティアセミナー (継続)	自然の家等におけるボランティア活動に必要な知識・技術を習得し、青少年教育としてのボランティア活動の振興を図る。	高・大学生 成人一般 45/40 84.4%	5/3～6 3泊4日
	外国青年のための自然の家ボランティア実践研修 (新規)	海外青少年教育指導者等に、少年自然の家の実務研修を行い、青少年教育施設の教育的実践について学ぶ機会とする。	国際学友会・ASJA 研修生 7/7 100%	7/25～8/17 ※5泊6日で4期に分けて
信州 高遠	ボランティアセミナー (新規)	「ボランティア」の意義と役割について理解を深め、ボランティア活動を実践の意欲を育てるとともに、必要な初歩的な知識・技術及び態度を実習を交えて研修する。	ボランティアを志す人 23/30 100%	5/10～12 2泊3日
妙高	妙高少年自然の家 ボランティア養成講習会 (継続)	当所のボランティア協議会と共催で、ボランティアの指導力や資質の向上を図る。ボランティアが、より主体的、自主的に活動することができる組織の充実とコーディネートシステムの整備を図る。	大学生、青年、成年、ボラ協議会員 29/30 88.0%	5/17～19 2泊3日

立山	野外活動ボランティア養成セミナー (継続)	講義や少年自然の家及び周辺での野外活動体験を通して、ボランティア活動に必要な知識・技能を習得する。	18才以上の学生 17/30 88.2%	5/3～5 2泊3日
若狭湾	ボランティア養成講座 (継続)	①青少年教育施設や子ども会などのボランティアの果たす役割を理解、また野外活動の知識や技能及び新しい手法を実習。 ②ボランティア活動を担う人材を育成。 ③週5日制対応事業で実践機会の提供。	高校生、高等専門学校生、専修学校生、大学生、社会人 17/30 100%	5/25～26 1泊2日
曾爾	ボランティアスクール (継続)	野外活動においてボランティアが果たす基本的な役割や意義並びに技能・態度について研修する。	高校生相当年齢以上の方 22/40 86.4%	4/27～29 2泊3日
吉備	少年自然の家ボランティア研修 (継続)	ボランティアとしての知識・技術及び態度について研修し、ボランティア活動への理解を深めるとともに、ボランティア活動を実践しようとする意欲を育てる。	高校生・大学生及び社会人 ①30/30 100% ②41/30 100%	①5/24～26 ②11/29～12/1 各2泊3日
山口徳地	ボランティアセミナー (継続)	青少年教育施設におけるボランティアとしての基本的な知識・技能等を習得し、ボランティアの資質の向上及び育成とともに、ボランティア同士の交流を図る。	高校生、大学生等及び一般人 71/50 81.4%	5/11～12 1泊2日
室戸	自然の家ボランティアリーダー研修 ①山編②海編③実践編 (継続)	①②)当所の活動についての理解を深め、指導技術の向上を図るとともに、新規指導員の登録を促す。 ③)次年度のボランティア指導員登録に向け、指導技術の向上を図る。	指導員希望者 ①32/30 100% ②30/30 96.0% ③14/30 100%	①4/20～21 ②5/18～19 ③3/21～22 1泊2日
夜須高原	少年自然の家ボランティア研修 (継続)	夜須を拠点とし、夜須の説明ができ、夜須での自然体験活動等の指導・援助ができるボランティアの確保・育成を行う	高・大・一般 ①54/36 ②64/36 90.7%	①5/11～12 ②6/1～2 各1泊2日
諫早	施設ボランティア研修Ⅰ～入門編～ (継続)	青少年教育施設の役割を理解するとともに、施設ボランティアとして活動をするための知識や技術を習得する機会とする。	高校生以上 77/50 94.8%	5/25～26 1泊2日
大隅	施設ボランティア研修 (新規)	ボランティアについての基本的な心構え等について共通理解するとともに、当所のボランティアの基本的な知識と技能の習得を図る。	施設ボランティア、大学生 12/20 100%	6/22～23 1泊2日
☆資質向上のための事業				
花山	東北地区青少年教育施設ボランティア研修会 (継続)	青少年教育施設ボランティアに対して、指導力を向上させるため、ボランティア活動の在り方、理論、技術を学ぶ。	施設ボランティア 20/20 90.0%	2/22～23 1泊2日
那須甲子	ボランティア連絡協議会 (継続)	ボランティアのフォローアップを図るために、指導技術・方法等のより実践的・専門的な研修活動を行う。	施設のボランティアセミナー修了者 20/30 95.0%	2/14～15 1泊2日
吉備	MOステーション in ぎび (施設ボランティア交流会) (新規)	ボランティアが主体となり企画、実施、評価等の具体的、実質的な研修を実施することにより、ボランティアの資質向上を図る。	施設ボランティア 62/30 100%	12/14～15 1泊2日
諫早	施設ボランティア研修Ⅱ (継続)	少年自然の家を支えるボランティアとしての教育的視点を持ち、教育的アプローチのできるリーダーを育てる。	高校生以上 28/20 100%	9/14～16 2泊3日
立山	集い語ろうボランティア フォローアップセミナー	近隣施設で活躍する施設ボランティアが集い、青少年の野外活動を援助・指導するための方法や理論について実習・協議する	四施設(乗鞍・若狭湾・能登・立山)施設ボランティア	11/15～17 2泊3日

若狭 湾	継続)	とともに、各施設ボランティア相互の交流を 深め、ネットワーク化を図る。 会場 : 国立乗鞍青年の家	12/30 100%	
---------	-----	---	------------	--

(4) 指導者の企画力や専門性を高める研修事業

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
日高	野外活動指導者研修会 (新規)	野外活動の健全な発展を図るため、野外活動指導者の参加を求め、野外活動の意義及びその普及振興などについて研究協議するとともに、指導者の資質の向上に資する。 (文部科学省、北海道教委との連携事業)	全国の野外活動指導者 76/80 85.3%	5/20～23 3泊4日
那須 甲子	全国少年自然の家 職員等専門研修 (再掲) (継続)	より魅力ある少年自然の家づくりを目指し、事業運営のあり方・指導法等について研修することにより、指導系職員等の専門性を高める。	施設の指導系職員等 17/30 94.1%	10/28～31 3泊4日
信州 高遠	自然体験指導者講習会 ～子どもたちの体験活動の充実のために～ (継続)	自然体験活動の意義を理解し、当該活動の企画、指導、評価について、実習を交えて学習し、指導者としての資質の向上を図る	学校教育・社会教育関係者自然体験活動に関心のある人 30 66.7%	5/10～12 2泊3日
妙高	自然の中で「総合」～総合的な学習の時間研究開発編～ (継続)	総合的な学習の時間プログラム開発委員会」を設置し、授業実践編と連動しながら本施設の自然環境を活用した総合的な学習の時間のプログラムを開発する。その成果をまとめ、広報・普及に努める。	小・中学校 ①17/20 ②15/20 ③14/20 ④ 5/20 ⑤12/20 ⑥ 8/20 ⑦17/20 100%	①5/25 ②6/29 ③7/27 ④8/19～20 ⑤9/14 ⑥10/12 ⑦2/1
	プログラムアドベンチャープログラム 研究開発事業 (継続)	「プロジェクトアドベンチャープログラム研究開発委員会」を設置し、現代的な課題である、不登校・いじめ・学級崩壊等に対応した、当所独自のアドベンチャープログラムを開発し、各学校等への普及に努める。	小・中学校 ① 6 ② 5 ③ 7 (未実施)	①5/25～26 1泊2日 ②7/20 ③8/25
立山	集団登山指導者研修会 ～子どもたちに 登山のすばらしさを～ (継続)	立山連峰の大自然を感得するとともに、集団登山の企画・運営に必要な基礎知識・技能やマナーを身につけ、指導者としての資質を高める。	小中高学校教員、青少年団体指導者、教育関係者 34/30 96.7%	8/18～21 3泊4日
	指導者のための冬季 野外体験活動講習会 (継続)	クロスカントリースキーやかんじきを利用した登山や雪の森での冬芽観察、動物の足跡トレッキングなどの自然観察を通して冬季活動の幅広い見方や楽しみ方を研修する。	小・中・高教員、青少年団体指導者、青少年教育関係者 16/30 100%	1/24～26 2泊3日
若狭 湾	自然体験活動 指導者実践講座 (継続)	①指導者養成講座 ②自然体験活動のプログラムの計画・立案方法を学ぶ。 ③自然体験活動を実際に体験することにより、指導者としての資質の向上を図る。	小・中・高教職員、青少年団体指導者、施設職員、社会教育関係者等 14/30 100%	9/24～26 2泊3日
	環境教育担当教員 講習会 (東部地区) (新規)	学校において、環境教育を担当する教員の指導力の向上を図り、環境教育の一層の充実に資する。	東日本小・中・高教員及び指導主事 70/75 88.0%	11/12～15 3泊4日

山口 徳地	環境教育担当者教員 講習会（西部地区） （継続）	小・中・高等学校における環境教育に関する指導内容、指導方法等に関する研修を行い、環境教育を担当教員の指導力の向上を図り、学校における環境教育の一層の充実を図る。	西日本各府県の小・中・高教員及び指導主事 80/72 80.0%	11/26～29 3泊4日
	青少年 野外教育企画セミナー 広報に関する研修 （新規）	野外教育に関わる民間教育事業者との連携の基に、野外教育の企画等に携わる専門指導者を養成する事業を実施することにより、専門的能力を持った指導者を確保し、わが国における野外教育の資質向上を図る。 （法人本部）	学校、教育委員会、青少年教育施設、民間団体等で野外教育の2年以上の指導経験者等 33/30 100%	1/28～31 3泊4日
室戸	青少年 野外教育企画セミナー 安全管理に関する研修 （新規）	野外教育に関わる民間教育事業者との連携のもとに、野外教育の企画等に携わる専門指導者を養成する事業を実施することにより、専門的能力を持った指導者を確保し、わが国における野外教育の資質向上を図る。 （法人本部）	学校、教育委員会、青少年教育施設、民間団体等で野外教育の2年以上の指導経験者等 30/30 94.9%	2/4～7 3泊4日
諫早	青少年 野外教育企画セミナー 事業の評価に関する研修 （継続）	効果の高い野外教育事業を実施できるよう、プログラムや事業運営などを評価して、事業の改善に結びつけるための技術について研修する。 （法人本部）	学校、教育委員会、青少年教育施設、民間団体等で2年以上の経験者 39/30 92.3%	2/25～28 3泊4日
本部	国立少年自然の家 指導系職員専門研修 事業企画研修」 （新規）	国立少年自然の家の指導系職員等に必要な知識や技術等の研修を通して、指導系職員としての資質・能力の向上を図る。	国立少年自然の家の在籍1年目の専門職員等 16/16 （未実施）	10/31～11/3 3泊4日

（５）民間団体・専門機関との連携事業

	事業名	事業の趣旨	対象者 参加者/定員 満足度	実施期間
花山	総合的な学習研修会 （継続）	少年自然の家における「総合的な学習」の充実を図るために、自然体験と環境教育の充実」を実践例に基づき研究協議をする。 当所が提唱している「花山自然体験プロジェクト」(自然観察・調査体験)を体験し検証する。 （宮城県伊豆沼内沼環境保全財団）	小・中学校教員、施設職員、青少年指導者 19/30 94.7%	6/7～8 1泊2日
	プロジェクトワイルド 講習会①② （再掲） （新規）	野生生物と自然資源に対し責任ある行動を促すために、生き物に重点をおいた環境教育プログラムの体験をする。 小・中学校や青少年教育施設での環境教育の気づき、知識、及び実践力を発達させる。 （株）生態計画研究所）	小・中学校教員、施設職員、青少年教育担当者 ①16/30 100% ②22/30 100%	①4/20 ②9/7

	宮城県発信！ 教育改革と体験学習法 全国ミーティング～生きる 力を育む冒険教育&体 験学習法～ 新規)	様々な体験学習法展開の諸問題について、ワークショップ形式で研究協議と討議を行う。 平成14年度は、PAを取り入れた宮城県教育委員会での取り組み状況を発表する。学校教育と野外教育関係者による情報交換をとおり、教育活動の展開に役立てる。 宮城県教育委員会、(株)プロジェクトアドベンチャー・ジャパン)	全国の教員及び 体験学習法に興味・関心がある者 151/200 100% (全国30都道府県)	10/18～20 2泊3日
	はなやま冒険教育体験会 ①～④ 継続)	当少年自然の家を利用する小・中学校等教員を中心に、プロジェクトアドベンチャー・ロープスコースを用いた冒険教育の体験実習を行うとともに、コースの効果的な利用及び完全管理について理解を図る。 (株)プロジェクトアドベンチャー・ジャパン)	小・中学校の等指導者、県内小・中教員 ①24/20 100% ②24/20 100% ③29/20 96.6% ④25/20 100%	①4/26～28 ②5/10～12 ③8/30～9/1 ④3/27～29 各2泊3日
	プロジェクトアドベンチャー指導者講習会Ⅰ 継続)	プロジェクトアドベンチャーの基礎知識や技術指導の研修をとおり、指導者の資質・指導力の向上を図る。 (株)プロジェクトアドベンチャー・ジャパン)	MAP体験会修了者、小・中学校利用指導者 16/20 100%	9/12～15 3泊4日
	プロジェクトアドベンチャー指導者講習会Ⅱ 新規)	学校や所属団体だけでなく、地域のPA指導者として必要な資質・指導力の向上やファシリテーションのスキルアップを図る。 (株)プロジェクトアドベンチャー・ジャパン)	PA指導者講習会Ⅰ修了者 16/20 100%	10/10～13 3泊4日
那須 甲子	外国青年のための自然の家ボランティア実践研修 (再掲) 新規)	海外青少年教育指導者等に、少年自然の家の実務研修を行い、青少年教育施設の教育的実践について学ぶ機会とする。 (国際学友会、ASJAインターナショナル)	国際学友会・ASJA研修生 7/7 100%	7/25～8/17 ※5泊6日で4期に分けて実施
妙高	教職員等プロジェクトアドベンチャー講習会 継続)	学校の教育活動において、プロジェクトアドベンチャーを活用した教育(住として心の教育)を推進するために、教職員等の指導者養成及び底辺の拡大を図る。 (株)プロジェクトアドベンチャー・ジャパン)	教職員・青少年教育関係者 44/30 92.1%	6/7～9 2泊3日
	プロジェクトアドベンチャーステップアップ講習 継続)	プロジェクトアドベンチャーの「指導者認定コース」指導技術向上コースA・Bを設定し、実践を通して指導者の底辺拡大及び技術の向上を図る。 (株)プロジェクトアドベンチャー・ジャパン)	大学生、教職員、青少年教育関係者 69/45 84.2%	8/23～25 2泊3日
立山	野外活動ボランティア養成セミナー (再掲) 継続)	講義や少年自然の家及び周辺での野外活動体験を通して、ボランティア活動に必要な知識・技能を習得する。 (財)とやま環境財団)	18才以上の学生 17/30 88.2%	5/3～5 2泊3日
	集団登山指導者研修会 一子どもたちに 登山のすばらしさを一 (再掲) 継続)	立山連峰の大自然を感得するとともに、集団登山の企画・運営に必要な基礎知識・技能やマナーを身につけ、指導者としての資質を高める。 (文部科学省登山研究所)	小・中・高等学校教員、青少年団体指導者、教育関係者 34/30 96.7%	8/18～21 3泊4日
山口 徳地	プロジェクトアドベンチャー指導者講習会 再掲) 継続)	プロジェクトアドベンチャー(PA)を活用した教育を推進していくため、PAの基礎知識と教育的手法の研修を行い、指導者の育成を図る。 (株)プロジェクトアドベンチャー・ジャパン)	小・中学校教員・少年指導者等 ①45/30 97.0% ②43/30 93.0%	①6/21～23 ②10/12～14 各2泊3日
	プロジェクトアドベンチャースキルアップ講習会 再掲) 新規)	プロジェクトアドベンチャー指導者講習会で資格取得した指導者が応用的な技術と教育的手法の研修を行い、より専門性の高い技能習得を図る。 (株)プロジェクトアドベンチャー・ジャパン)	PA指導者講習会資格認定者 29/30 66.6%	11/15～17 2泊3日

	青少年 野外教育企画セミナー 広報に関する研修 (再掲) (新規)	野外教育に関わる民間教育事業者との連携の基に、野外教育の企画等に携わる専門指導者を養成する事業を実施することにより、専門的能力を持った指導者を確保し、わが国における野外教育の資質向上を図る。 NPO 法人国際自然大学校、国立少年自然の家本部)	学校、教育委員会、青少年教育施設、民間団体等で野外教育の2年以上の指導経験者等 33/30 100%	1/28～31 3泊4日
室戸	自然の家 ボランティアリーダー研修 ①山編②海編③実践編 (再掲) (継続)	①②)当所の活動についての理解を深め、指導技術の向上を図るとともに、新規指導員の登録を促す。 (社)日本キャンプ協会、日本マリンスポーツ普及教育振興財団) ③)次年度のボランティア指導員登録に向け、指導技術の向上を図る。 (社)日本キャンプ協会、自然体験活動推進協議会)	指導員希望者 ①32/30 100% ②30/30 96.0% ③14/30 100%	①4/20～21 ②5/18～19 ③3/21～22 各1泊2日
	全国青少年教育施設職員 水辺活動セミナー (再掲) (新規)	様々な水辺活動を通し、教育施設職員における水辺活動指導の資質向上を図る。 JEAN クリーンアップ全国事務局、全日本潜水連盟)	青少年教育施設職員 22/25 95.0%	2/15～16 1泊2日
	青少年 野外教育企画セミナー 安全管理に関する研修 (再掲) (新規)	野外教育に関わる民間教育事業者との連携のもとに、野外教育の企画等に携わる専門指導者を養成する事業を実施することにより、専門的能力を持った指導者を確保し、わが国における野外教育の資質向上を図る。 NPO 法人国際自然大学校、国立少年自然の家本部)	学校、教育委員会、青少年教育施設、民間団体等で野外教育の2年以上の指導経験者等 30/30 94.9%	2/4～7 3泊4日
	教師のための 体験学習法ワークショップ (再掲) (新規)	体験学習法をベースとした野外教育のプログラムデザインをとおして、教育的で質の高い野外宿泊学習を生み出す基礎を学ぶ機会とする とともに、学校の教育活動に野外教育の新しい手法を普及する。 (アウトドア・エデュケーションセンター)	利用の学校教員 ①57/30 ②53/30 96.0%	①7/23 ②7/24
諫早	新任教員のための 野外教育入門セミナー (再掲) (継続)	児童生徒の野外教育を推進するため、野外教育指導に必要な専門的知識と実践的技術など、指導者としての資質向上を図る。 (長崎県教育センター)	県新規採用教員 (小・中・高) 106/106 96.2%	7/30～8/2 3泊4日
	施設ボランティア研修Ⅱ (再掲) (継続)	少年自然の家を支えるボランティアとして教育的視点をもち、教育的アプローチのできるリーダーを育てる。 (ホールアース自然学校)	高校生以上 28/20 100%	9/14～16 2泊3日
	青少年 野外教育企画セミナー 事業の評価に関する研修 (再掲) (継続)	効果の高い野外教育事業を実施できるよう、プログラムや事業運営などを評価して、事業の改善に結びつけるための技術について研修する。 (財)キープ協会、国立少年自然の家本部)	学校、教育委員会、青少年教育施設、民間団体等で2年以上の経験者 39/30 92.3%	2/25～28 3泊4日